

TOTO

住宅用システムトイレ

レストパルF(壁掛タイプ)

レストパル(床置タイプ)

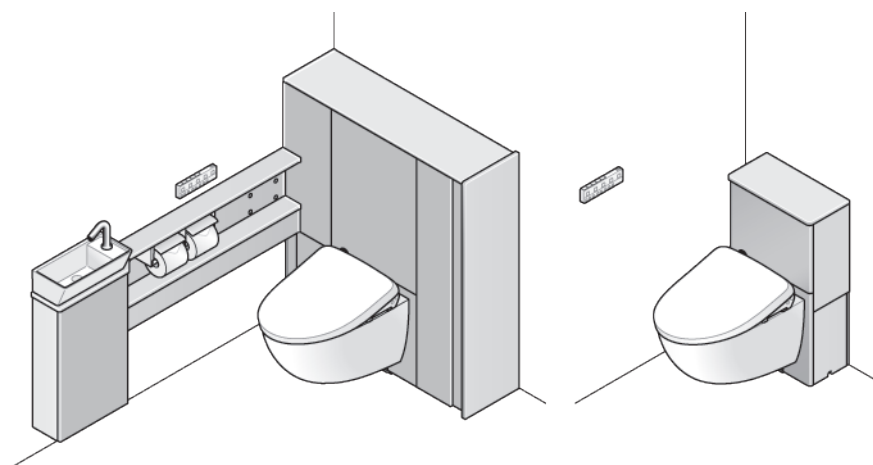
住宅用壁掛トイレ

FD

取扱説明書 保証書付

品番

UWR系
UWT系
UWU系



- このたびは、本商品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書に、取付店名、お取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 本商品に設置されている器具の使いかた・お手入れなどは、各器具の取扱説明書を参照してください。
- 付属している製品品番ラベルをはり付けのうえ、製品登録(P.2)をお願いします。

【製品品番ラベルはり付け欄】

はじめに

P.4

使いかた

P.12

お手入れ

P.19

こんなときは

P.28

製品登録・サポート情報のご案内

製品登録のお願い



スマートフォン・タブレット端末で、
表紙および商品にはり付けていただいた品番ラベルから
WEB サイトへアクセスしてください。

※通信料はお客様負担となります。



製品登録のお願い ※複数台登録が可能です

商品安全に関する大切なお知らせにご使用させていただくため、
お客様情報の登録をお願いいたします。

【パソコンで登録される場合】

TOTO ホームページにアクセスし、お客様サポートの「商品のご登録」より
画面の案内に従って登録してください。

TOTOホームページ <https://jp.toto.com>

ご使用の商品に関する情報

商品に関する情報確認や、商品のお問い合わせ・修理のお申し込みなどを行うことができます。

製品登録のお問い合わせ

TOTO（株）ご愛用者登録相談室 TEL ☎ 0120-55-1172

受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

お客様の個人情報は、当社のプライバシーポリシーに基づいて適切に管理、取り扱いさせていただきます。
詳細は TOTO ホームページをご覧ください。

関連商品の取り扱い情報

使いかたの詳細は取扱説明書をあわせてご確認ください。

- 参照** 専用の取扱説明書があるもの
- ・自動水栓（ハイバックタイプ用以外）
 - ・ウォシュレット
 - ・電気温水器

お客様サポート

- ※ 通信料がかかります。
- ※ ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

お手入れ



扉の調整



もくじ

はじめに

各部のなまえ	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
準備と確認	10

使いかた

収納術（L型）	12
収納術（I型）	14
照明	16
紙巻器	16
水栓	17
キャビネット扉	18
引き出しラック	18
棚板	18

お手入れ

お手入れ用品・洗剤	19
お手入れ方法	20
キャビネット・カウンター・紙巻器・手洗器・天板	20
電源プラグ	20
サイドカバー・大便器	21
大便器とウォシュレットのすき間	22
水栓	24
ドラムトラップ	26
給水フィルター	27

こんなときは

停電やリモコンの電池が切れたとき	28
断水のとき	30
大便器が詰まったとき	30
冬場の凍結を防ぐ	31
サイドカバーの着脱	37
水勢調整	38
天板の調整（まるごと収納タイプの場合）	38
扉の調整	39
トイレを長期間使わない場合	40
定期的な点検	40
メンテナンススケジュール	41
故障かな?と思ったら	42
Q&A	43
アフターサービス	45
保証について	45
補修用性能部品の最低保有期間	45
修理依頼について	45
交換部品について	45
仕様	46
保証書	51

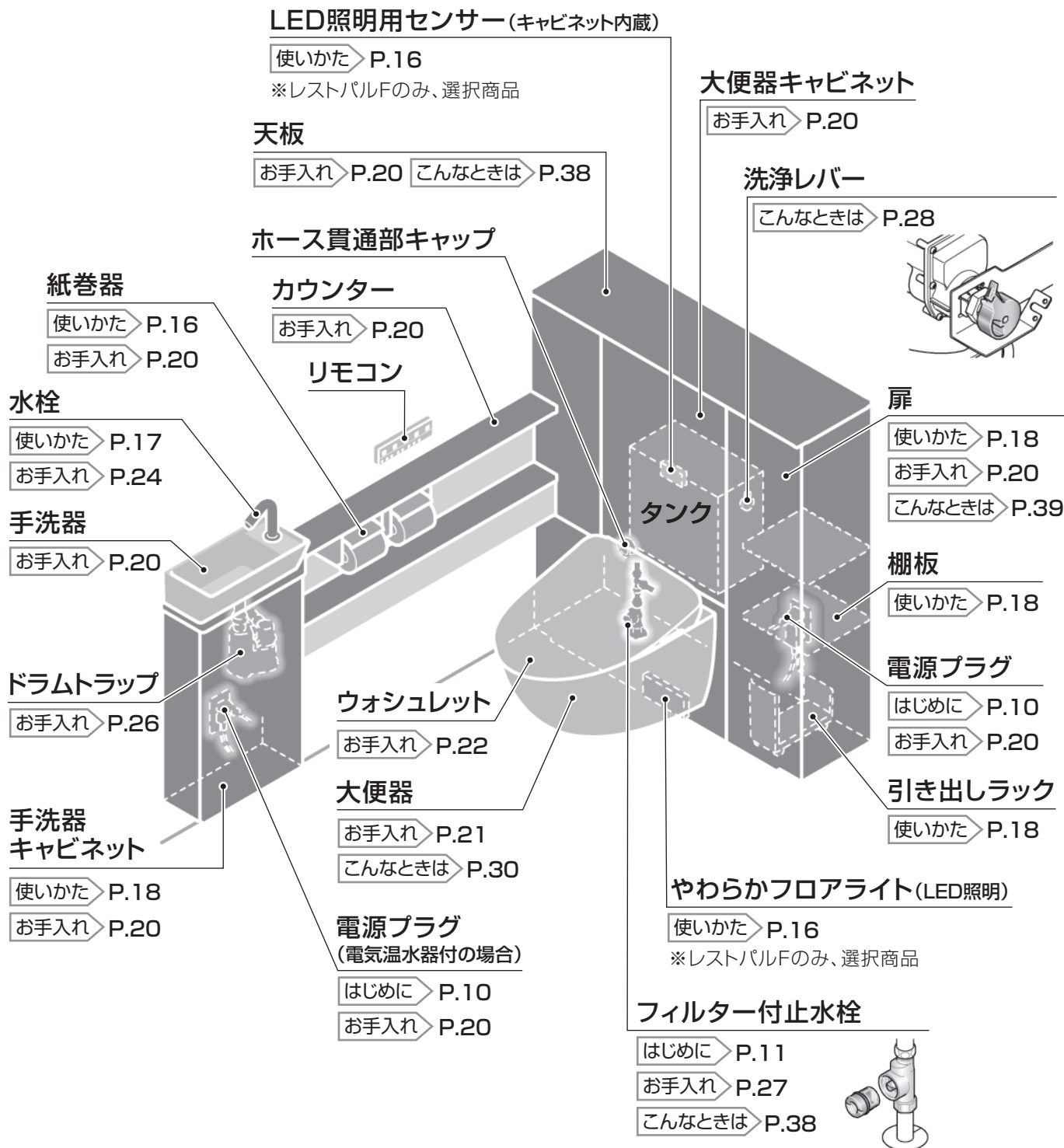
各部のなまえ

※ ご使用のタイプにより各部仕様は異なります。

参照 手洗器・水栓の品揃えについて：P.47

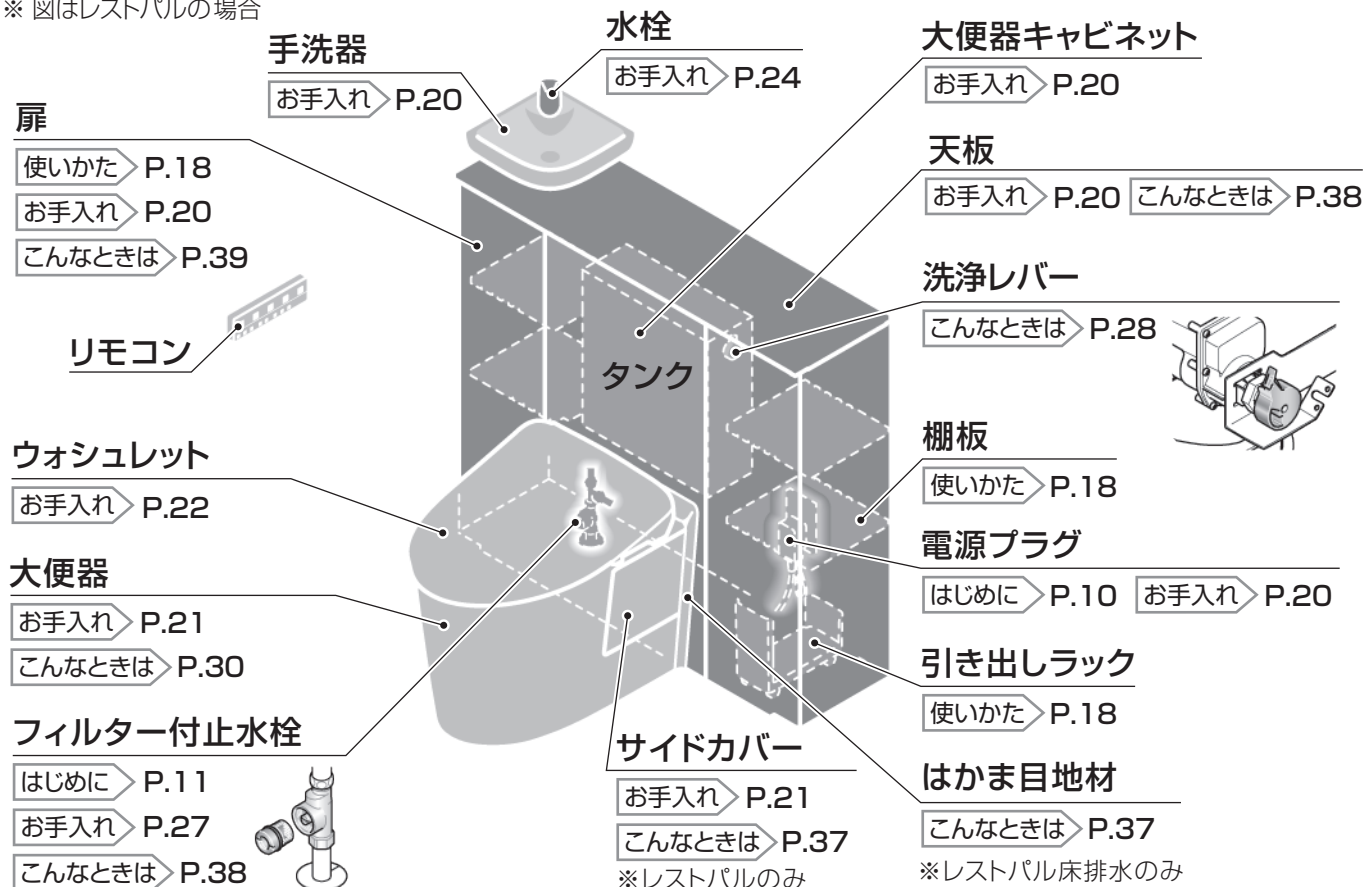
レストパルF／レストパル（L型）

※ 図はレストパルFの場合

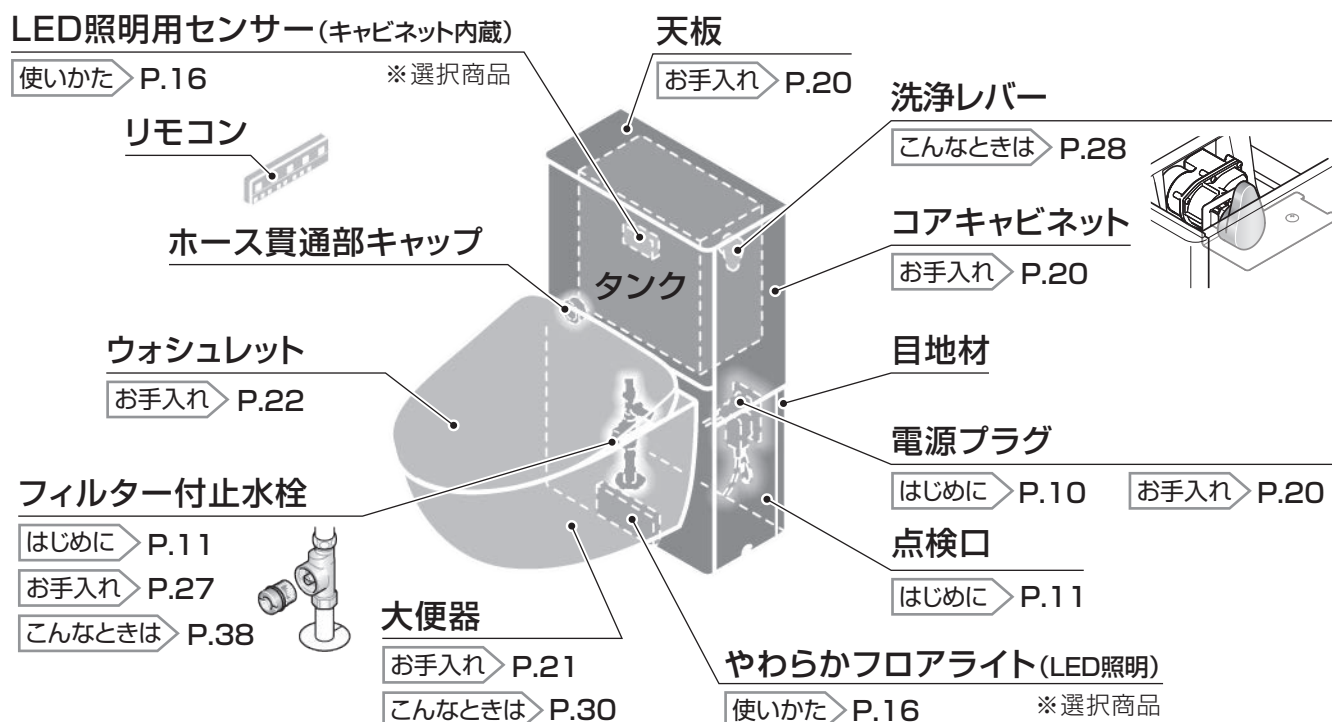


レストパルF／レストパル (I型)

※ 図はレストパルの場合



FD



使用を中止していただきたい事例や安全上、使用時、長期間使用に伴う注意点を掲載しています。



安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

参照 各器具の取り扱いについて：各器具に同梱の取扱説明書

表示と意味 ※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。



警告



水場使用
禁止

- 浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
火災や感電の原因となります。
商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれがあります。



分解禁止

- 修理技術者以外の人は分解したり、修理・改造はしない
火災、感電、破損によるけが・重大事故、止水・吐水不良などの不具合により、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



火気禁止

- たばこやストーブなどの火気類を近づけない
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電気部品に触れない
感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



水ぬれ禁止

- 電気部品に水・洗剤・小水をかけない
火災や感電の原因となります。
万一、水がかかった場合はブレーカーを落としてから電源プラグを抜いて乾燥させてください。



アース接続

- アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



プラグを抜く

- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜く
ほこりがたまり、火災の原因となります。
- 電源を使う機器をお手入れするときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く
電源コード、電源プラグの傷みによる火災や感電の原因となります。



禁止

- 商品に無理な荷重をかけない
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
- 電源コード、電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま使用しない
火災や感電の原因となります。
- がたついているコンセントは使わない
火災や感電の原因となります。
- 電源コード、電源プラグが破損するようなことをしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
破損とは…
傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- 指定する電源(AC100V)以外では使用しない
火災の原因となります。
- 給水および排水管の真下部にコンセントを設置したり、フレキシホースと電源プラグ、コンセントを接触させない
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。
- 微弱な信号を取り扱う電子機器・医療機器を近くで使用しない
誤作動などの影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器メーカーおよび販売業者に電波による影響について確認してください。



必ず守る

- 商品が傾いたり、がたつきが発生したら使用を中止する
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
- 電源プラグを差し込む前には、刃などに付いたほこりや水滴を確実に取り除く
火災や感電の原因となります。

⚠ 注意



禁止

- 商品に強い力や衝撃を与えない
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
- 商品に冷水やお湯をかけない
破損してけがのおそれがあります。
- 扉の開閉時には可動部に手や指を入れない
けがのおそれがあります。
- 陶器・セラミック部にひび・割れがあるときは、
破損部を絶対に触らない・そのまま使い続けない
けがのおそれがあります。
- 扉を大きく開けすぎたり、勢いよく開けたりしない
扉が外れてけがのおそれがあります。
- 天板、点検口の開閉時には可動部に手や指を
入れない
けがのおそれがあります。
- 落下して破損するおそれのある物はいれない
収納物が落下・破損してけがのおそれがあります。
- 収納物がはみ出したり不安定になる入れかたをしない
収納物が落下・破損してけがのおそれがあります。
- 手洗器・カウンターにセットされている水栓の
固定がゆるんだまま使用しない
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因
となります。
- 商品に乗らない、重い物を載せない
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
- 手洗器に酸性・アルカリ性の洗剤や薬品類を流さない
手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。また、手洗器表面
を侵し、割れてけがのおそれがあります。
- フレキホースが破損するようなことをしない
フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。
破損とは…
傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など
- 止水栓を開けたままで給水フィルター、機能部
フィルターを外さない
水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因
となります。
- 吐水口をふさがない
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因
となります。
- 芳香洗剤、瓶などは、タンク内に入れない
水量減少で便器や排水管が詰まり、汚水があふれ
て家財などをめらす財産損害発生や、内部器具を
傷めたり内部部品に当たり、止水、吐水不良になる
原因となります。
- 故障したままで商品を使い続けない
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて
給水を止めてください。
故障とは…
・配管や商品から水漏れしている
・商品にひびや割れが入っている
・異音、異臭がしている
・商品から煙が出ている
・商品が異常に熱い など
火災や感電、水漏れして家財などをめらす財産損害
発生の原因となります。
- 便器には、汚物・トイレトーパー以外の物は
流さない
便器が詰まり、汚水があふれて家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。
- 一度に大量のトイレトーパーを便器に流さない
便器が詰まり、汚水があふれて家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。

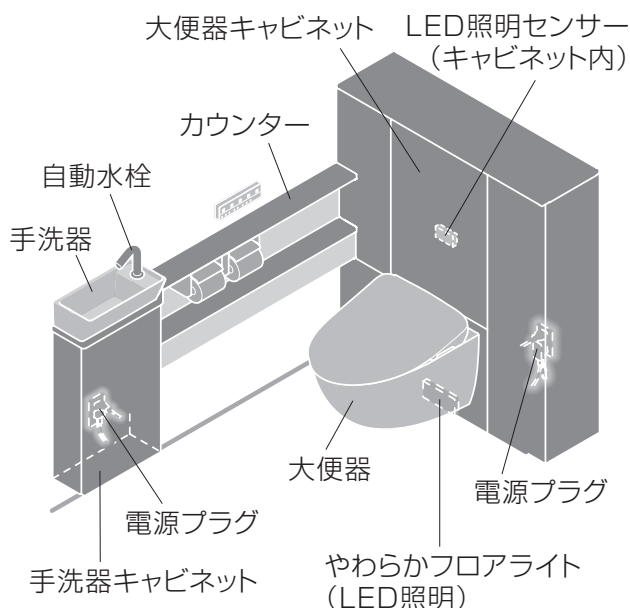


必ず守る

- 凍結による破損の予防を行う
凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財
などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 長期間使用しないときは、止水栓または配管部の
元栓を閉める
水漏れなど予想しない事故の原因となります。
- 給水フィルター、機能部フィルター、
給水フィルター付水抜栓をのお手入れをする
ときは止水栓を閉めてから行う
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因
となります。
- 水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める
家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 中に収納する物は4kg以内に作る
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
- 定期的(年2回)に、配管まわりの水漏れや、がた
つきがないか確認する
劣化・摩耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れ
して家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 便器が詰まった場合、市販の吸引器で詰まりを除去する
そのまま水を流すと汚水があふれ家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。
- 棚板の金具は正しく差し込む
棚が外れてけがのおそれがあります。
- やわらかフロアライトはトイレ主照明を併用する
人によっては暗くてつまずいたり、ぶつかってけが
をする原因となります。
- 便器の水たまり部を見て、封水が切れていないか
確認する
封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化
水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・
傷害の生じる原因となります。

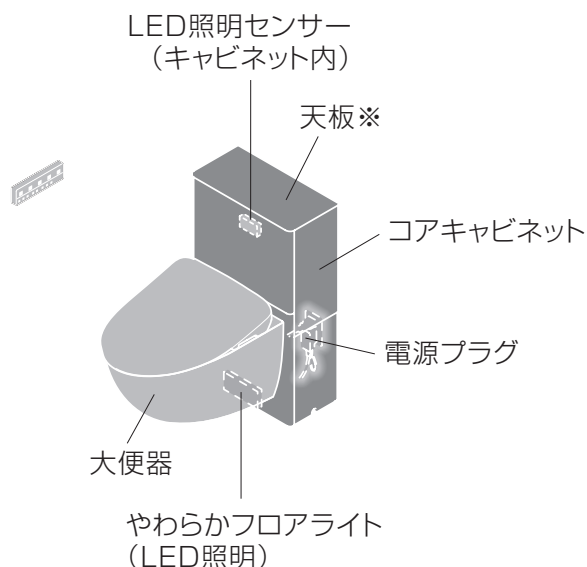
使用上のご注意

【レストパルF／レストパル】



※ 図はレストパルF (L型)の場合

【FD】



※ 以下の天板カラーはセラミックとなります。
ラスティブラック／リトレベージュ

大便器

- 陶器表面に金属類、時計のバンド、ベルトのバックルなどを強くこすりつけない
黒や銀色のスジ状の跡・汚れの原因となります。
- 便器洗浄は、使用用途に応じて〈大洗浄〉〈小洗浄〉を使い分ける
汚物の大きさや量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1回の洗浄で完全に流しきれずに残る場合があります。
大洗浄：大便約250g または、トイレットペーパー（シングル）約10m まで
小洗浄：トイレットペーパー（シングル）約3mまで
これ以上の汚物やトイレットペーパー（シングル）を流すと便器が詰まるおそれがあります。
- 必ずセットタンク内が満水になってから流す
洗浄不良や詰まりの原因となります。
- 小水でも使ったあとは必ず水を流す
そのまま放置すると小水と水道水の成分が結びついて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。

レストパルF／レストパルのみ

- 大便器洗浄時「ゴボゴボ」音がするとき、排水口からにおいがするとき、つど手洗器用排水トラップに水をためる
水栓から約5秒水を流すと、たまります。

電源プラグ

- 落雷の可能性がある場合、あらかじめ電源プラグを抜く
故障の原因となります。

手洗器

レストパルF／レストパルのみ

- 陶器表面に金属類、時計のバンド、ベルトのバックルなどを強くこすりつけない
黒や銀色のスジ状の跡・汚れの原因となります。
- 手洗器の中に芳香洗浄剤や飾りものなどを置かない
タンク内に異物が入ったり、洗浄剤の影響で内部部品の不具合が生じたりして、洗浄不良や止水不良などの故障の原因となります。
- タンク上手洗器では石けん類は使わない
止水不良になる原因となります。

自動水栓

レストパルF／レストパルのみ

- 自動水栓の場合、センサーを遮る物を感知領域内に入れない
誤作動の原因となります。

カウンター・キャビネット

- 商品のお手入れをするときは、適量に薄めた中性洗剤を使用し、次の物は使わない
酸性洗剤、塩素系洗剤、アルカリ性洗剤、トイレ・バス用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン・シンナー・アセトン、クレンザー、ナイロンたわし など
表面に傷がついたり、変色・変質の原因となります。
- 商品にゴム成分の物を載せない
材質によってはゴム成分がしみ出し、変色の原因となります。
- 商品に消臭剤や芳香剤、石けんや洗剤などを噴霧したりこぼしたりしない
付着した場合は、水でぬらしてよく絞った柔らかい布などで速やかにふき取ってください。
表面材のひび割れ・変色の原因となります。
- ヘアピン・カミソリの刃などを放置しない
さびが付着し、取れなくなる場合があります。
- 直射日光が当たらないようにする
変形・変色・劣化の原因となります。
- 商品にかたい物(花びんなど)を置いて引きずらない
傷つきの原因となります。
- 商品本体は乾いた布やトイレトペーパーなどでふかない
傷つきの原因となります。
- 商品に粘着性のある物をはらない
表面仕上げ材のはがれ、変色の原因となります。
- 木質製の商品に水や洗剤がかかったときは、すぐにふき取る
表面材のはがれや変形の原因となります。
- 化粧品が付着したときは、すぐにふき取る
化粧品の中には、プラスチックに悪影響を与える物があり、変色・破損の原因となります。

レストパルF／レストパルのみ

- 開いている扉を上から押したり、範囲を超えて開けたりしない
変形の原因となります。
- 洗剤類を収納する場合は、必ずキャップを閉める
洗剤類の液漏れや気化ガスが収納内を侵し、故障・腐食の原因となります。

FDのみ

- 座ったまま後ろの便ふたに寄り掛からない
キャビネットが傷つく原因となります。
- セラミックに過度な衝撃を与えない
焼き物のため、破損するおそれがあります。
- 商品が破損した場合は、破損部に触れない
破損部によってけがをするおそれがあります。
- セラミック表面に金属類、時計のバンド、ベルトのバックルなどを強くこすりつけない
黒や銀色のスジ上の跡・汚れの原因となります。

やわらかフロアライト(LED照明)

- センサーの近くに金属物を置かない
誤作動の原因となります。
- トイレ全体を明るくするための照明ではありません。
主照明は別途必要です。
- LED にはばらつきがあるため、商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。
- 壁紙や床材の色や材質によって発光色・明るさは異なります。
- 鏡面仕上げ床との組み合わせ時、LED照明によって器具底面は、鏡面仕上げ床に写り込みます。
- ビルトインリモコン、LED 照明、照明付化粧鏡は電波を使用しています。
ほかの電波を使用する機器(無線LAN、電子レンジ、Bluetooth対応機器など)の近くで使用すると誤作動のおそれがあります。
- トイレが広い場所や入室する箇所(ドアの位置)によっては、LED照明が入室直後に点灯しない場合があります。
- LED照明は専用品であり、市販ランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。取り替えの際は、お求めの取付工事店、TOTOメンテナンス(株)へご依頼ください。
- 本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機内蔵の無線装置を分解／改造する
 - ・本機内蔵の無線装置にはられている証明ラベルをはがす
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 - 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、TOTO(株)お客様相談室(裏表紙参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
 - 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、TOTO(株)お客様相談室(裏表紙参照)へお問い合わせください。

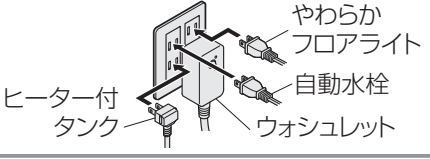
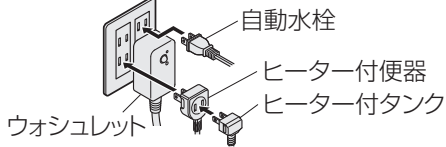
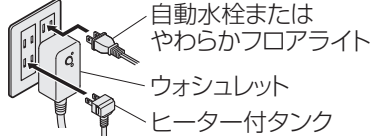
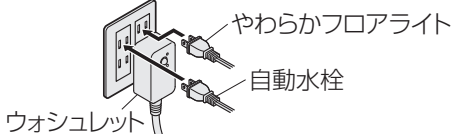
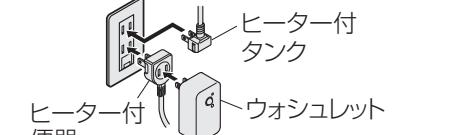
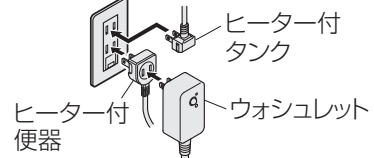
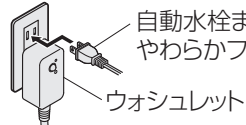
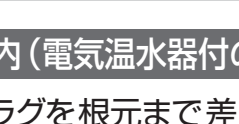
準備と確認

電源プラグ

大便器キャビネット／コアキャビネット 内

コンセントに電源プラグを根元まで差し込み、電源プラグの作動確認をしてください。

ウォシュレットの電源プラグについて P.20

設置機器					コンセント	プラグの差し込み
ウォシュレット	やわらかフロアライト	自動水栓 ※1	ヒーター付タンク ※3	ヒーター付便器 ※4		
○	○	○	○	—	 埋込アースターミナル付4口コンセント	
○	—	○	○	○		
○	—	○ ※2	○	—		
○	○	—	○	—		
○	○	○ ※2	—	—		
○	—	—	○	○	 埋込アースターミナル付2口コンセント	
○	—	—	○	—		
○	—	○	—	—		
○	○	—	—	—		
○	—	—	—	—		

※1 電気温水器付の場合は手洗器キャビネット内のコンセントに差し込みます。

詳細 ▶ 本ページ右記参照

※2 電気温水器付の場合は埋込アースターミナル付2口コンセントとなります。

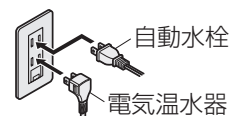
※3 水抜方式の場合

※4 水抜方式（ヒーター付便器併用）の場合

手洗器キャビネット内（電気温水器付の場合）

コンセントに電源プラグを根元まで差し込んでください。

参照 電気温水器に同梱の取扱説明書

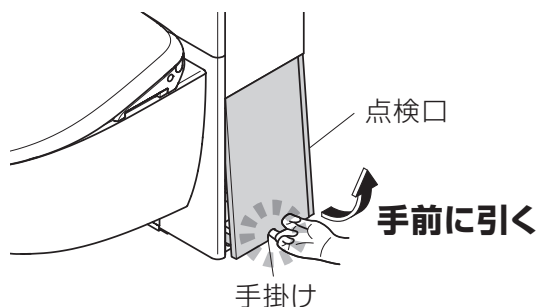


点検口

※ FDのみ

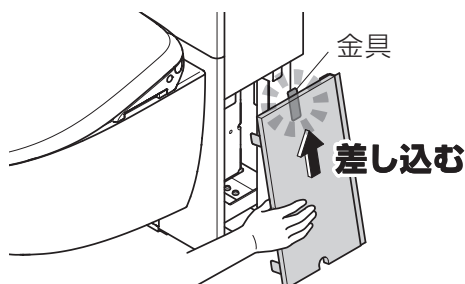
開けかた

- 1 点検口下部の手掛けを持ち、手前に引く

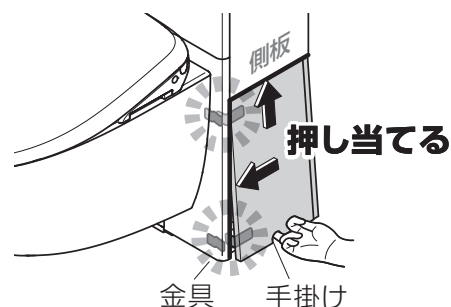


閉めかた

- 1 点検口の側面を持ち、開口部上部に点検口の金具を差し込む

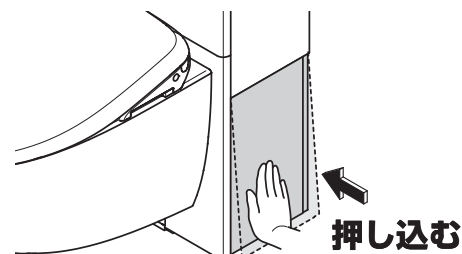


- 2 点検口下部の手掛けを持ち、点検口「上部」と「手前」を側板・前板に押し当てながらキャビネットの金具に差し込む



- 3 点検口と側板、前板との段差がなくなるように下部を押し込む

※ 点検口の上部と手前のすき間をなくしてください。

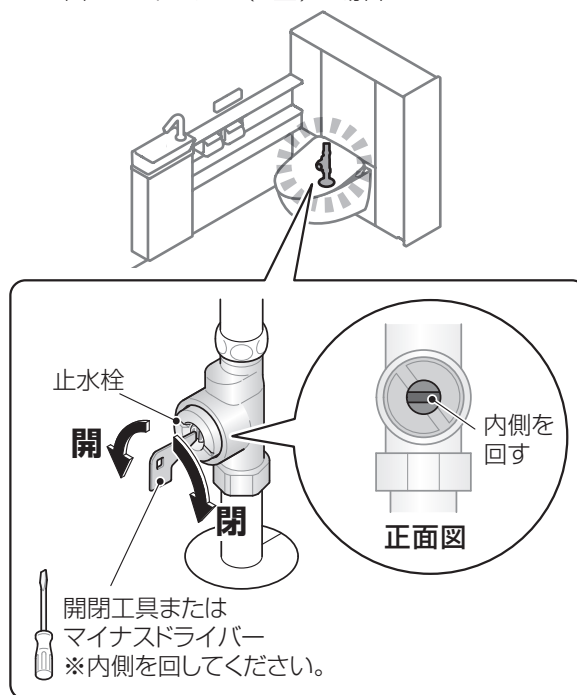


止水栓

※ 止水栓の位置はタイプにより異なります。

- 1 止水栓のあるキャビネットの扉または点検口を開ける
- 2 工具を使い、止水栓を回す
(左に回すと開く／右に回すと閉まる)

※ 図はレストパルF (L型) の場合

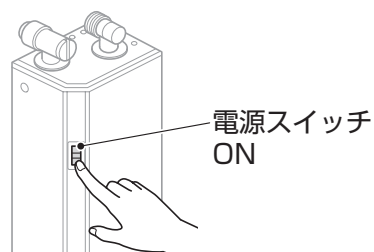


- 3 手洗器の吐水が適量になるように調整する

電気温水器

電源スイッチを「入」にしてください。

参照 設定について：電気温水器に同梱の取扱説明書



収納術 (L型)

収納のPoint

『まるごと収納タイプ』なら

トイレットペーパー12ロールをまるごと収納できます

ほかにも生理用品やお掃除シートなどのストックスペースとしてたっぷり使えます。

お手持ちのトイレ用品のサイズに対応

好きな位置に棚板高さを変えられます

棚板 P.18

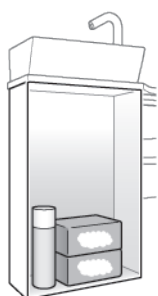
洗剤とブラシを“セットで”取り出せてとっても便利

引き出しラックを収納できます

引き出しラック P.18

よく使う収納物を入れるのにおすすめ

手洗器下の収納も使えます



〈電気温水器なしの場合〉

トイレットペーパー × 5

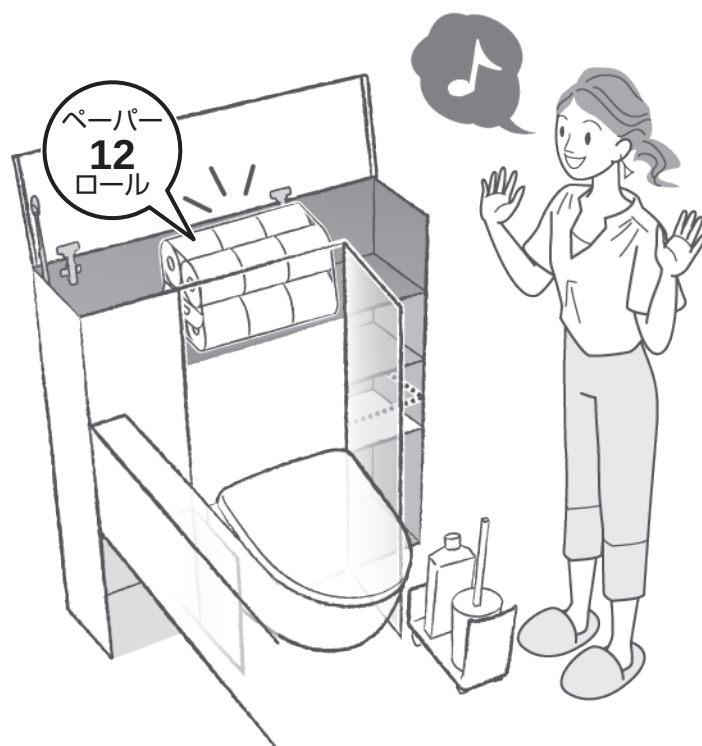
または

消臭剤 × 1

生理用品 × 2

〈電気温水器付の場合〉

消臭剤 × 2



※ 上の図はレストパルFまるごと収納タイプを紹介しています。

収納量の設定条件

収納量は収納物のサイズを以下の 場合で設定しております。(単位: mm)

※ 収納物のサイズによって実際に収納できる量は変わります。

トイレットペーパー 1個	トイレットペーパー 12個	生理用品	お掃除シート	お掃除シート 詰め替え用
トイレポット	トイレブラシ	洗剤	芳香剤	消臭剤

- ※ 間口750mmの場合での収納量の目安です。
- ※ 給・排水位置の条件により、収納量が変わる場合があります。
- ※ 棚板の耐荷重は3kgです。

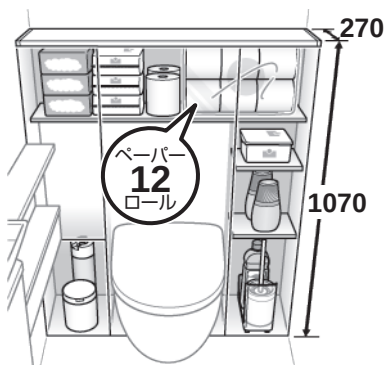
使用上のご注意

まるごと収納タイプの場合、
ダンパー側にぴったり収納物を入れない
天板が閉まらないことがあります。
少し中央側へ寄せてください。



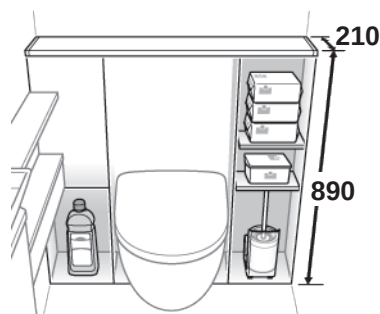
レストパルF

まるごと収納タイプ



- | | |
|-----------------|------------|
| トイレットペーパー × 14 | トイレブラシ × 1 |
| 生理用品 × 3 | 洗剤 × 1 |
| お掃除シート × 1 | 芳香剤 × 2 |
| お掃除シート詰め替え用 × 3 | 消臭剤 × 1 |
| トイレポット × 1 | |

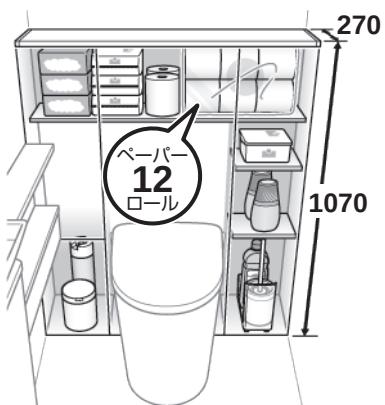
スリム収納タイプ



- | |
|-----------------|
| お掃除シート × 1 |
| お掃除シート詰め替え用 × 3 |
| トイレブラシ × 1 |
| 洗剤 × 1 |

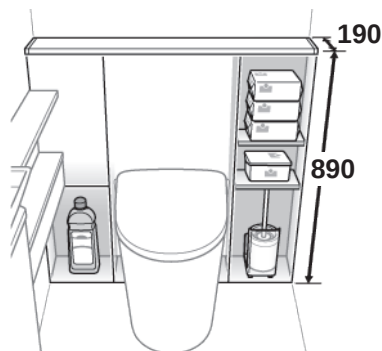
レストパル

まるごと収納タイプ



- | | |
|-----------------|------------|
| トイレットペーパー × 14 | トイレブラシ × 1 |
| 生理用品 × 3 | 洗剤 × 1 |
| お掃除シート × 1 | 芳香剤 × 2 |
| お掃除シート詰め替え用 × 3 | 消臭剤 × 1 |
| トイレポット × 1 | |

スリム収納タイプ



- | |
|-----------------|
| お掃除シート × 1 |
| お掃除シート詰め替え用 × 3 |
| トイレブラシ × 1 |
| 洗剤 × 1 |



使いかた

レストパルF

レストパル

F D

収納術 (I型)

収納のPoint

『まるごと収納タイプ』なら

トイレトーパー12ロールをまるごと収納できます

ほかにも生理用品やお掃除シートなどのストックスペースとしてたっぷり使えます。

お手持ちのトイレ用品のサイズに対応

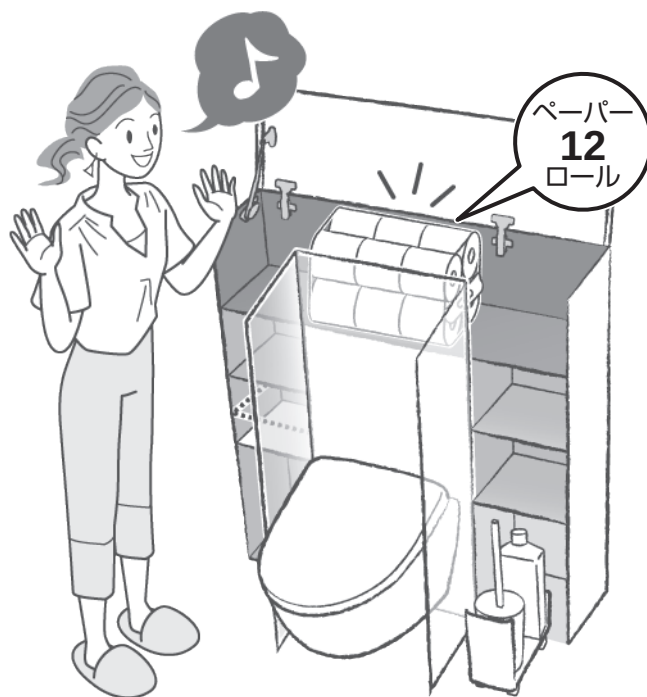
好きな位置に棚板高さを変えられます

棚板 P.18

洗剤とブラシを“セットで”取り出せてとっても便利

引き出しラックを収納できます

引き出しラック P.18



※ 上の図はレストパルFまるごと収納タイプを紹介しています。

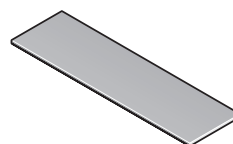
収納量の設定条件

収納量は収納物のサイズを以下の 場合で設定しております。(単位: mm)

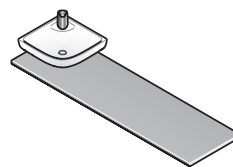
※ 収納物のサイズによって実際に収納できる量は変わります。

トイレトーパー1個	トイレトーパー12個	生理用品	お掃除シート	お掃除シート詰め替え用
 116 120	 348 225 225	 80 185 115	 75 160 120	 60 230 145
トイレポット	トイレブラシ	洗剤	芳香剤	消臭剤
 190 115	 400 120	 245 105 45	 180 100 80	 230 60

天板のタイプが異なっても収納量は同じです。



手洗器なし



手洗器あり

使用上のご注意

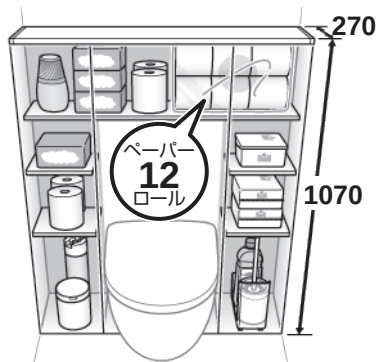
- ※ 間口750mmの場合での収納量の目安です。
- ※ 給・排水位置の条件により、収納量が変わる場合があります。
- ※ 棚板の耐荷重は3kgです。

まるごと収納タイプの場合、
ダンパー側にびったり収納物を入れない
天板が閉まらないことがあります。
少し中央側へ寄せてください。



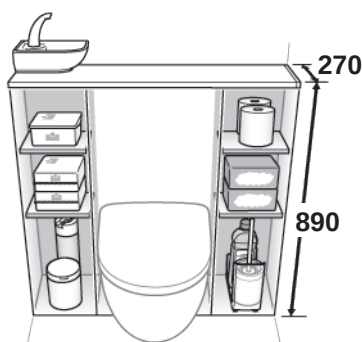
レストパルF

まるごと収納タイプ



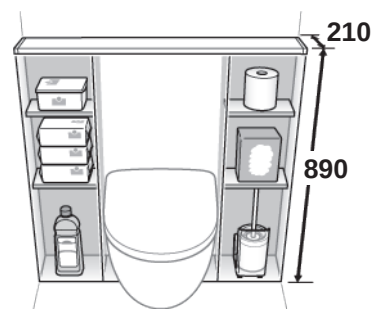
- トイレットペーパー × 16
- 生理用品 × 4
- お掃除シート × 1
- お掃除シート 詰め替え用 × 2
- トイレポット × 1
- トイレ ブラシ × 1
- 洗剤 × 1
- 芳香剤 × 1
- 消臭剤 × 1

収納タイプ



- トイレットペーパー × 2
- 生理用品 × 2
- お掃除シート × 1
- お掃除シート 詰め替え用 × 2
- トイレポット × 1
- トイレ ブラシ × 1
- 洗剤 × 1
- 消臭剤 × 1

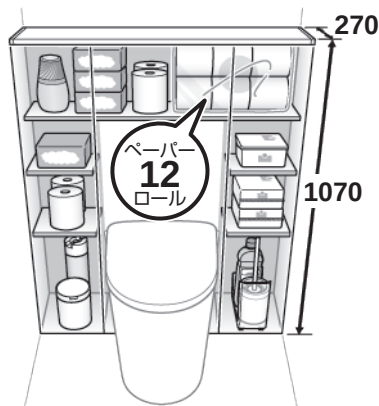
スリム収納タイプ



- トイレットペーパー × 1
- 生理用品 × 1
- お掃除シート × 1
- お掃除シート 詰め替え用 × 3
- トイレ ブラシ × 1
- 洗剤 × 1

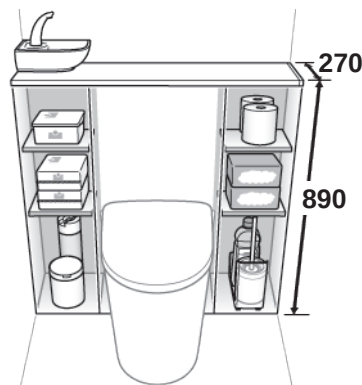
レストパル

まるごと収納タイプ



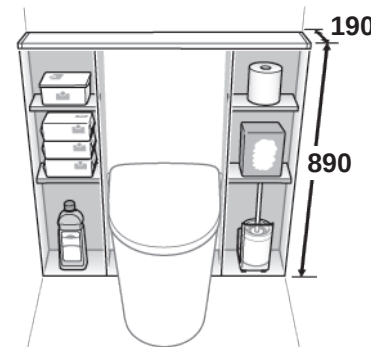
- トイレットペーパー × 16
- 生理用品 × 4
- お掃除シート × 1
- お掃除シート 詰め替え用 × 2
- トイレポット × 1
- トイレ ブラシ × 1
- 洗剤 × 1
- 芳香剤 × 1
- 消臭剤 × 1

収納タイプ



- トイレットペーパー × 2
- 生理用品 × 2
- お掃除シート × 1
- お掃除シート 詰め替え用 × 2
- トイレポット × 1
- トイレ ブラシ × 1
- 洗剤 × 1
- 消臭剤 × 1

スリム収納タイプ



- トイレットペーパー × 1
- 生理用品 × 1
- お掃除シート × 1
- お掃除シート 詰め替え用 × 3
- トイレ ブラシ × 1
- 洗剤 × 1



使いかた

レストパルF

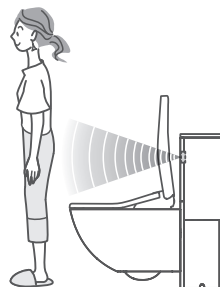
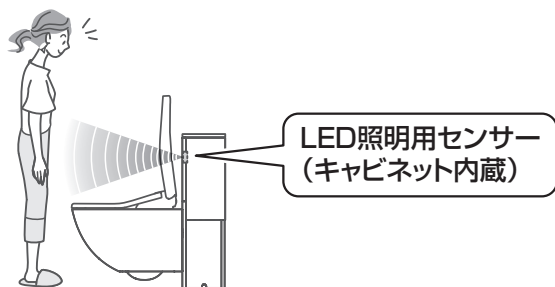
レストパル

F D

照明

やわらかフロアライト(LED照明)

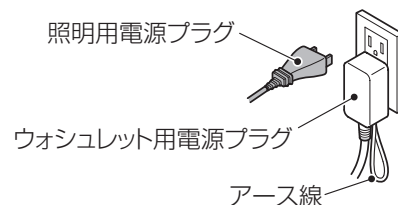
トイレに入室し、LED照明用センサーの検知範囲内に人が入ると自動で点灯します。
トイレから退室すると、自動で消灯します。



※ 図はFDの場合



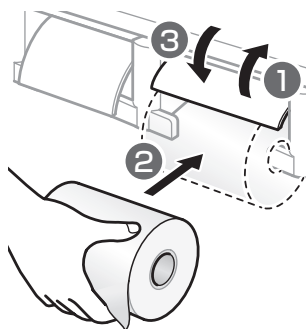
- LED照明の明るさや色味は調整できません。
- LED照明用センサーは大便器正面側のトイレのドアや壁を透過して人の動きを検知するため、トイレの外にいてもLED照明が点灯する場合があります。
- トイレが広い場所や入室する場所(ドアの位置)によっては、入室直後にLED照明が点灯しない場合があります。
- 人が静止状態、または動きが少ない場合は、トイレの中に人が居てもLED照明が消灯する場合があります。
- 消灯するまでの時間はトイレの使用状況によって異なります。
- LED照明を使わない場合は、照明用電源プラグを抜いてください。



レストパルF/レストパル

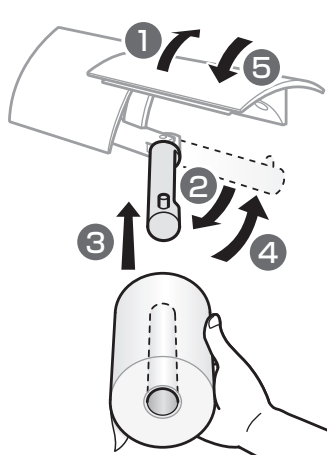
紙巻器

樹脂製



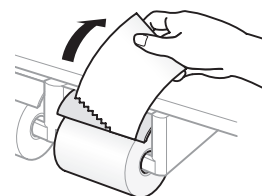
※ トイレットペーパーがセットしにくい場合は、斜め下から片方ずつ入れてください。

メタル製



トイレットペーパーは下向きに引き出し、紙切板に沿って上へ向けて片手でカットしてください。

※ トイレットペーパーの種類により、切りにくい場合や切れやすい場合があります。



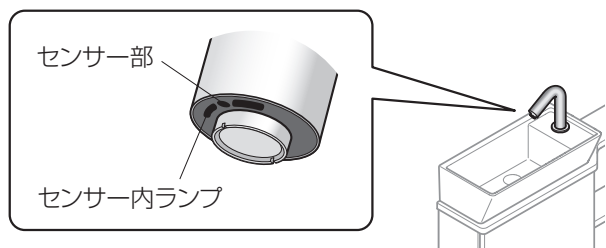
水栓

自動水栓

センサー部の下に手を近づけると水が出ます。
手を離すと水が止まります。

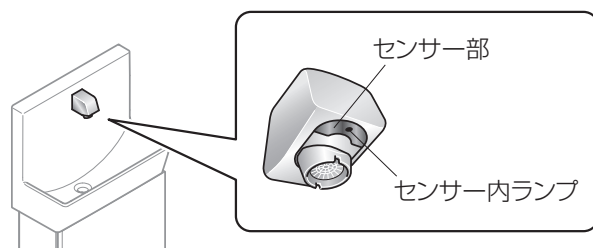
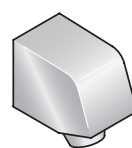
水の量を調整するとき ▶ P.38

ベッセルタイプ(丸形／角形)



※ 図はベッセルタイプ(角形)の場合

ハイバックタイプ



お知らせ

- 約15秒間手を動かさないでいると、自動で止まります。(手を動かし続けても、1分後に止まる)
- センサー内のランプは、電源を入れて約10分間は感知するたびに点滅しますが、故障ではありません。(ランプの点滅は約10分後に消える)

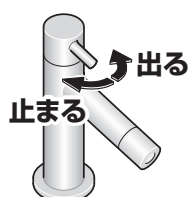
ハンドル式水栓

水の量を調整するとき ▶ P.38

ベッセルタイプ(丸形)



ベッセルタイプ(角形)

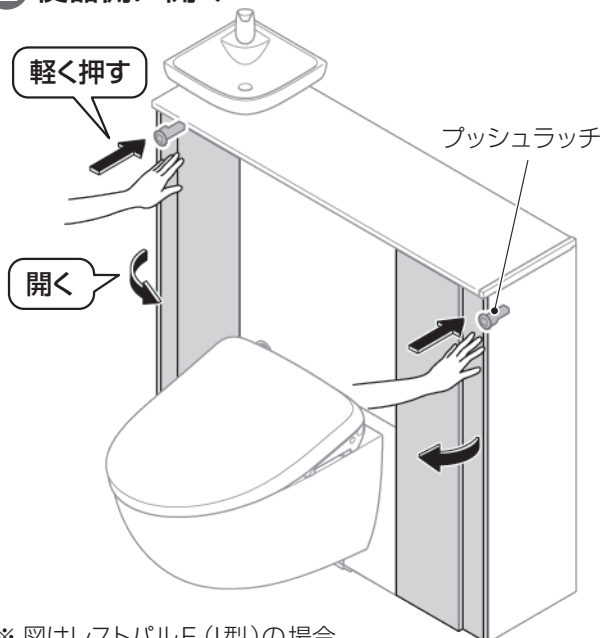


ハイバックタイプ



キャビネット扉

- ① プッシュラッチ付近を軽く押す
- ② 便器側に開く



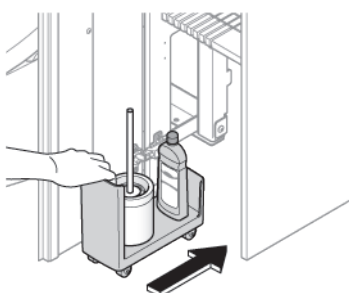
※ 図はレストパルF (I型) の場合

引き出しラック

- ① 大便器キャビネットの扉を開ける
- ② 引き出しラックを使いやすい位置まで手前に引き出す

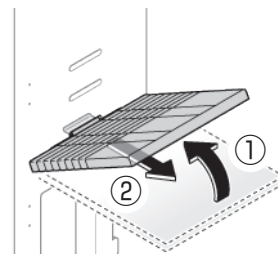


- ③ トイレブラシなどをセットする
- ④ 大便器キャビネットの中にしまう

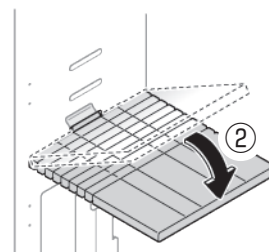
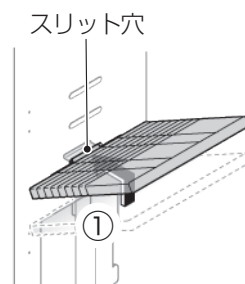


棚板

- ① キャビネットの扉を開ける
- ② 棚板の端部を上側に引き上げてそのまま外側に引き抜いて外す



- ③ 移動するスリット穴の位置にあわせて棚板を斜めにして金具を差し込み、水平に戻す



- ④ 棚板が斜めに取り付いていないことを確認する

お手入れ用品・洗剤

[情報を見る](#)
[お手入れ方法](#)


参照 各器具の取り扱いについて：各器具に同梱の取扱説明書

日常のお手入れ用品

全体



柔らかい布



中性洗剤

大便器・手洗器用



トイレブラシ※



トイレ用洗剤※



スポンジ



歯ブラシ

※ 手洗器には使用しないでください。

水栓用

水栓に傷をつけずに、水あかななどの汚れを効果的に除去できるTOTO「蛇口まわりのクリーナー」のご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先：
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

[お問い合わせ先](#) [裏表紙](#)

使えない洗剤・道具

		部位				
		レストパルF／レストパル		FD	使えない洗剤	使えない道具
		L型	I型			
木質				・シンナー ・アセトン ・ベンジン ・酸性洗剤 ・アルカリ性洗剤（塩素系含む） ・研磨材入り洗剤 ・トイレ用洗剤 ・住宅用洗剤	・金属ブラシ ・金属たわし（スチールウール） ・紙やすり ・研磨材付きナイロンたわし ・ナイロンたわし ・たわし ・メラミンスポンジ ・乾いた布 ・トイレトペーパー ・先のとがった物（つまようじなど）※	
	樹脂					・樹脂のみ
陶器・セラミック					・強酸性洗剤 ・強アルカリ性洗剤 ・フッ素系洗剤※ ・研磨材入り洗剤 ※ フッ化水素・フッ化アンモニウムを含む	・金属ブラシ ・金属たわし（スチールウール） ・紙やすり ・研磨材付きナイロンたわし
	金属				・シンナー ・ベンジン ・酸性洗剤 ・アルカリ性洗剤（塩素系含む） ・研磨材入り洗剤	・金属ブラシ ・金属たわし（スチールウール） ・紙やすり ・研磨材付きナイロンたわし ・ナイロンたわし ・たわし ・メラミンスポンジ

🔧
お手入れ

レストパルF

レストパル

FD

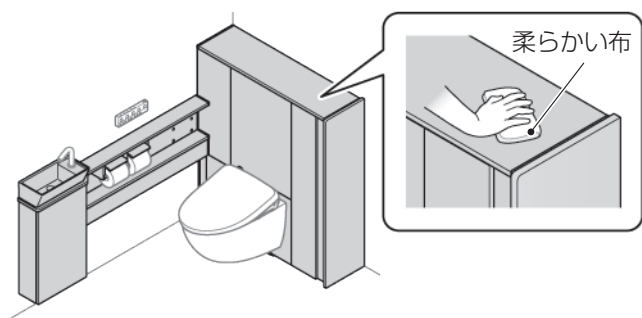
お手入れ方法

参照 自動水栓（ハイバックタイプ用以外）のお手入れ：自動水栓に同梱の取扱説明書
電気温水器のお手入れ：電気温水器に同梱の取扱説明書

レストパルF／レストパル／FD

キャビネット・カウンター・紙巻器・手洗器・天板

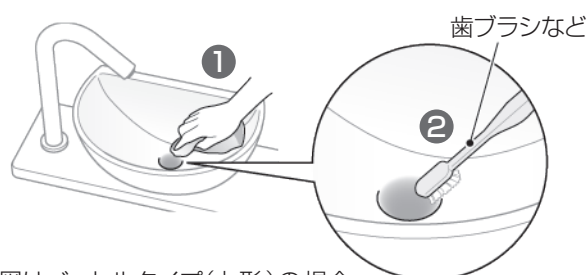
- ① 薄めた中性洗剤を付けてふく
- ② 水ぶきのあと、からぶきする



※ 図はレストパルF（L型）の場合

フランジレス排水口まわり

- ① 柔らかい布、スポンジなどで汚れをふき取る
- ② 清掃しにくい場合は歯ブラシなどで汚れを取る



※ 図はベッセルタイプ（丸形）の場合

ひどい汚れ

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきする

レストパルF／レストパル／FD

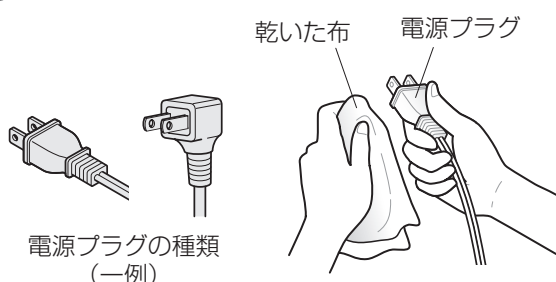
電源プラグ

警告

禁止	コンセント・電源プラグに水・洗剤をかけない 火災や感電の原因となります。 万一、水がかかった場合は ブレーカーを落としてから 電源プラグを抜いて乾燥 させてください。	必ず守る ・電源プラグのお手入れは、コンセントから抜いて行う 感電の原因となります。 ・コンセント・電源プラグのほこりなどを 取り除き、根元まで差し込む 火災・感電の原因となります。
------------------	--	--

- ① 電源プラグを抜く

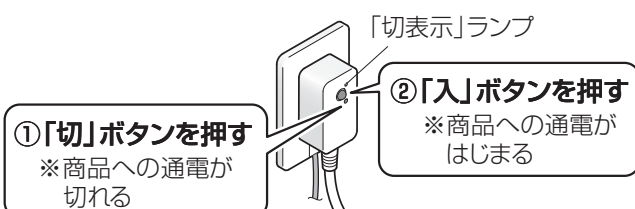
- ② 刃などのほこりを取る



電源プラグの種類
（一例）

- ③ 電源プラグを、根元まで差し込み
作動確認をする

※ ウォシュレットの電源プラグには、商品内部で漏電が起きたときに、商品への通電を切る「漏電保護機能」がついています。正しく作動するか確認してください。
※ 「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。



①「切」ボタンを押す
※ 商品への通電が
切れる

②「入」ボタンを押す
※ 商品への通電が
はじまる

サイドカバー・大便器

⚠ 注意



必ず守る

ウォシュレット本体・便座・便ふた・サイドカバーなどのプラスチック部分は
乾いた布やトイレトペーパーなどでふかない

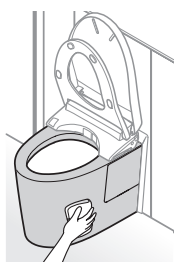
水でぬらした柔らかい布をよく絞ってふいてください。傷つきの原因となります。

※大便器用洗剤がキャビネット・ウォシュレット・サイドカバーに付着しないようご注意ください。



サイドカバー・大便器外面

柔らかい布で水ぶきする



ひどい汚れ

柔らかい布に薄めた中性洗剤をつけてふく
水ぶきのあと、水でぬらした柔らかい布をよく
絞ってからぶきする

大便器内面

軽い汚れ

トイレブラシやスポンジで水洗いする



トイレブラシやスポンジ

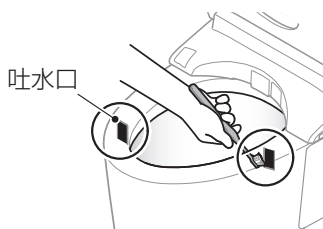


吐水口まわりの汚れ

使い古しの歯ブラシなどで掃除する



歯ブラシ



吐水口

水あかなどのしつこい汚れ

使用上のご注意

便座・便ふたは開けたままにしてください。

②③の項目は早め(3分以内)に
行ってください。

洗剤から発生する揮発ガスが
温水洗浄便座などの内部に入る
ことにより、故障の原因となります。



① 汚れた部分の水分をふき取る

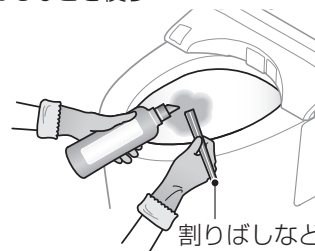


② トイレ用洗剤を汚れに直接かけ、 こすり洗いする

※ 取れにくい場合は割りばしなどを使う



トイレ用洗剤・
トイレブラシやスポンジ



割りばしなど

③ 水洗いする

大便器とウォシュレットのすき間

警告



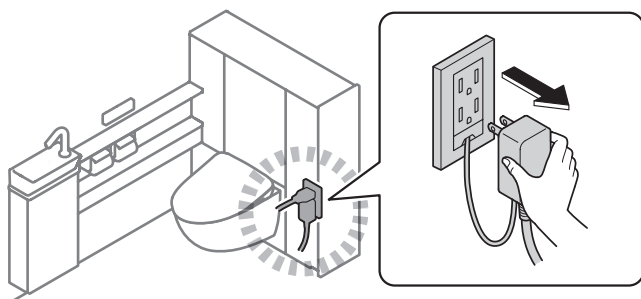
禁止

ウォシュレット本体を取り外す前に安全のためコンセントから電源プラグを抜く
また、抜いた電源プラグに水がかからないようにする
コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

- 1 キャビネットの扉または点検口を開け、電源プラグを抜く

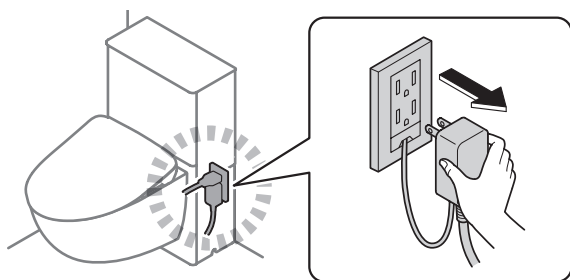
電源プラグ P.10

レストパルF／レストパル



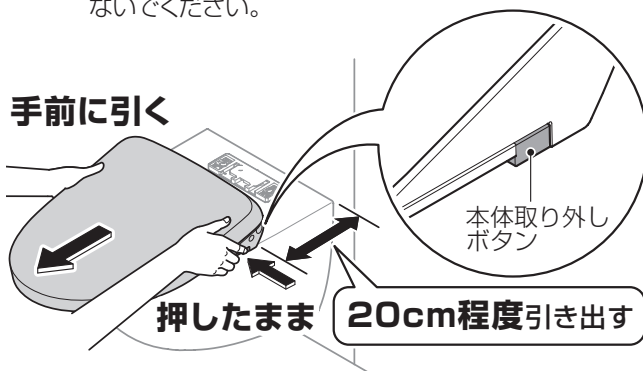
※ 図はレストパルF (L型) の場合

FD



- 2 ウォシュレット本体右側の本体取り外しボタンを押したまま、本体を手前に引く

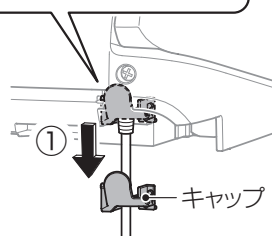
※ 給水ホース・電源コードがあるので、無理に引っ張らないでください。



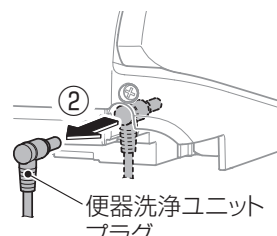
便器洗浄ユニットプラグを抜く場合

- 3 キャップを外し、便器洗浄ユニットプラグを抜く

プラグ接続口を確認



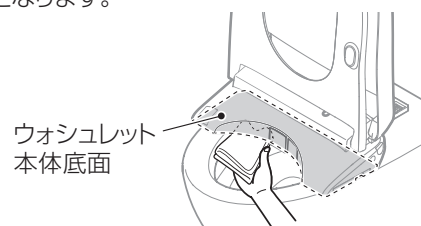
キャップを外す



プラグを抜く

- 4 柔らかい布に薄めた中性洗剤を付けてふく
水ぶきのあと、水でぬらした柔らかい布をよく絞ってからぶきする

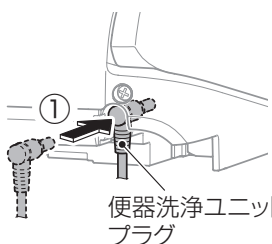
※ ウォシュレット本体を傾けないでください。
故障の原因となります。



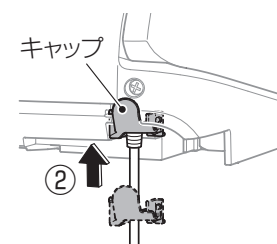
ウォシュレット
本体底面

便器洗浄ユニットプラグを抜いた場合

- 5 便器洗浄ユニットプラグを根元まで確実に差し込み、キャップを取り付ける

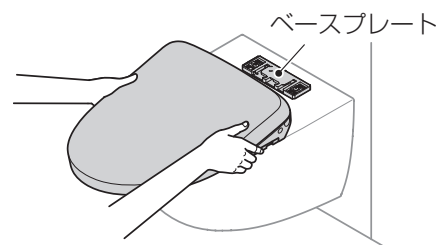


便器洗浄ユニット
プラグ



キャップ

- 6 ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心をあわせる



ベースプレート

大便器とウォシュレットのすき間

7 コードやホースをキャビネットの中に納める

⚠ 注意



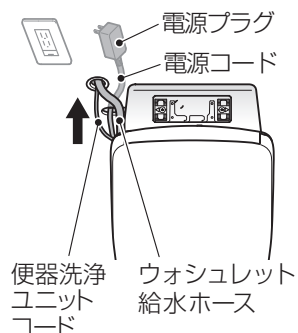
必ず守る

電源コード、ウォシュレット給水ホース、便器洗浄ユニットコードは、はかま目地材切り欠きに必ず通す
はかま目地材のシワや浮きの原因となります。

レストパル

はかま目地材なしの場合（壁排水）

コンセントが左にある場合

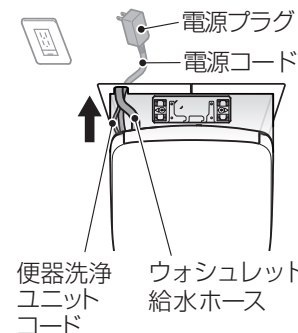


コンセントが右にある場合

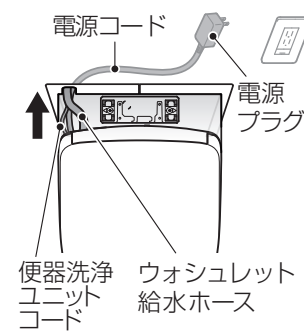


はかま目地材ありの場合（床排水）

コンセントが左にある場合



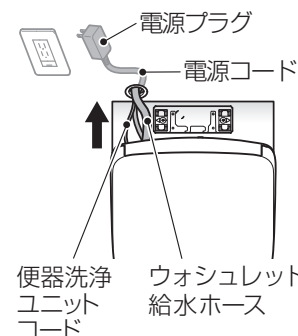
コンセントが右にある場合



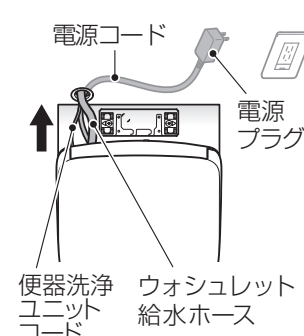
レストパルF／FD

※ レストパルF／FDに、はかま目地材はありません。

コンセントが左にある場合



コンセントが右にある場合



8 便器洗浄ユニットプラグが奥まで差し込まれていることを確認する

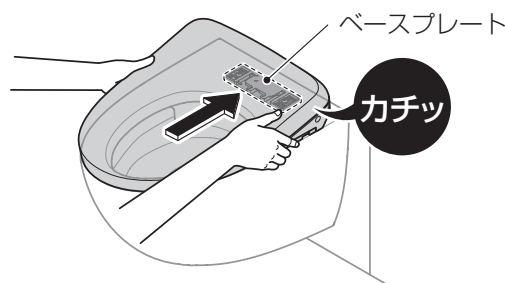
※ 正しく差し込まれていないと、オート便器洗浄しません。

便器洗浄ユニットプラグを抜いた場合 P.22 ⑤

9 大便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ ウォシュレット本体を軽く手前に引っ張って商品が外れないことを確認してください。

※ ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



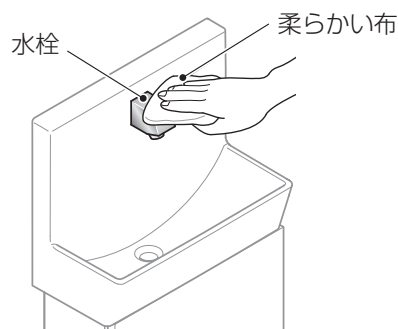
10 電源プラグを差し込む

電源プラグ P.10

11 キャビネットの扉または点検口を閉める

水栓

共通



※ 図はハイバックタイプの場合

軽い汚れ

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、水栓およびセンサー部の汚れをふき取る

ひどい汚れ

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてからからぶきする

※ 上記方法でも汚れが落ちない場合は、
TOTO「蛇口まわりのクリーナー」をご使用ください。
お求めに関するお問い合わせ先：

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

お問い合わせ先 ▶ 裏表紙

ハンドル式水栓

水量が少なくなってきたら…

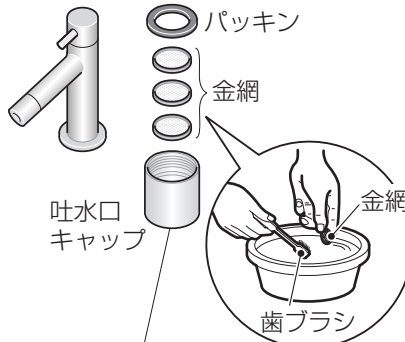
泡まつキャップ・金網

ベッセルタイプ(丸形)



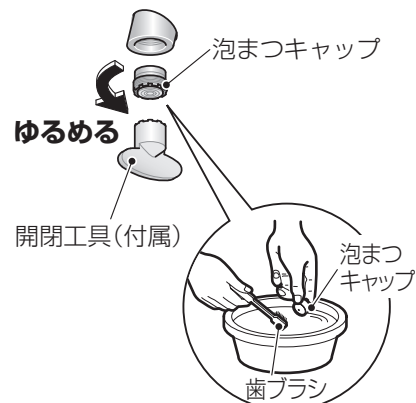
吐水口キャップは手で回して外す
※すべるときはゴム手袋などをご使用ください。
ゆるめる

ベッセルタイプ(角形)



吐水口キャップは手で回して外す
※すべるときはゴム手袋などをご使用ください。
ゆるめる

ハイバックタイプ



ゆるめる

開閉工具(付属)

泡まつキャップ
歯ブラシ

水栓

自動水栓

センサー部

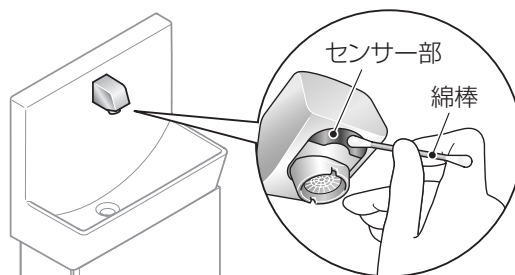
① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② 綿棒で水ぶきする

※ ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を付けてふいた後、水ぶきしてください。

※ センサー面を傷つけないよう注意してください。



※ 図はハイバックタイプの場合

泡まつキャップ

水量が少なくなってきたら…

① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② 泡まつキャップを外し、分解する

※ センサー面を傷つけないよう注意してください。

※ パッキンを針金などで外してから、プッシュ・内筒を外してください。

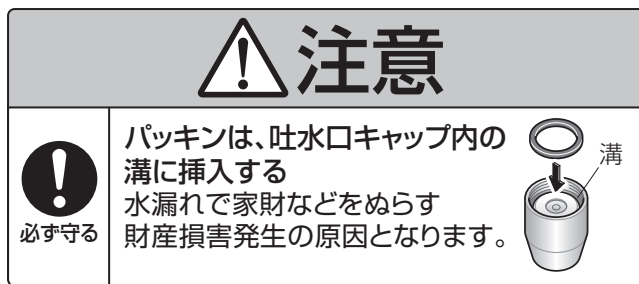
③ 吐水口キャップや内筒の網目に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く

④ 内筒の小穴のゴミを取り除く

⑤ 泡まつキャップを元どおり組み立て、取り付ける

⑥ 止水栓を開ける

止水栓の開けかた P.11



機能部フィルター

① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② キャビネットの扉を開け、自動水栓機能部に組み込まれている機能部フィルターを開閉工具で外す

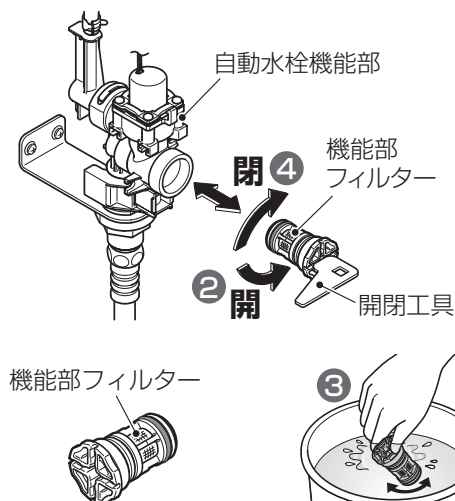
③ 機能部フィルターを水洗いする

④ 機能部フィルターを取り付ける

※ 機能部フィルターは奥まで確実に取り付けてください。

⑤ 止水栓を開ける

止水栓の開けかた P.11



ドラムトラップ

手洗器の水はけが悪くなったら

市販の中性または弱アルカリ性「排水パイプ用洗剤」を使用し、ドラムトラップを洗浄する

⚠ 注意

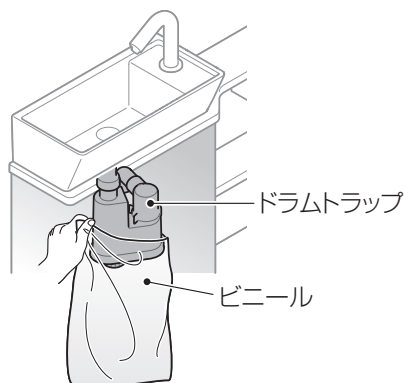


禁止

- ・酸性またはアルカリ性の排水パイプ用洗剤は使用しない
 - ・洗剤の使用後は十分な量の水を流し忘れない
- 手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

手洗器排水口の詰まりが解消されない場合

- ① 手洗器キャビネットの扉を開ける
- ② ドラムトラップにビニールをかぶせる
- ③ ビニールの口をしっかり持つ

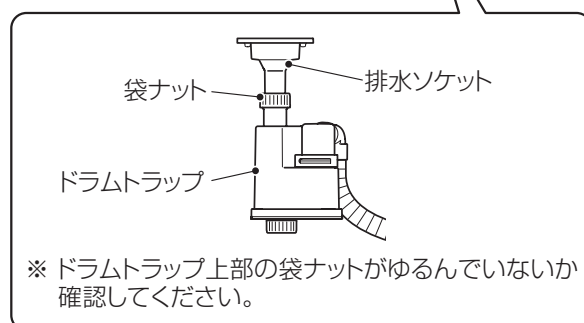
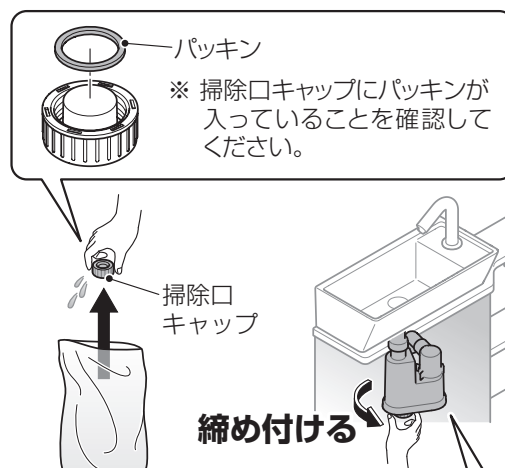


- ④ ビニールの外からドラムトラップが動かないよう押さえ、下の掃除口キャップをゆるめる



- ⑤ ドラムトラップの中のたまり水を出す

- ⑥ 水が完全に出たらビニールに入った掃除口キャップを取り出し、ドラムトラップが動かないよう押さえ、元の位置へしっかり手で締め付ける



- ⑦ 水を通し、水漏れがないか確認する

給水フィルター

給水フィルターが詰まると、タンクへ水をためる時間が長くなります。
その際は、給水フィルターの掃除を行ってください。

⚠ 注意



必ず守る

給水フィルターをお手入れなどで外すときは必ず止水栓を閉めてから行う
水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

- ① 止水栓がある側のキャビネット扉または点検口を開ける

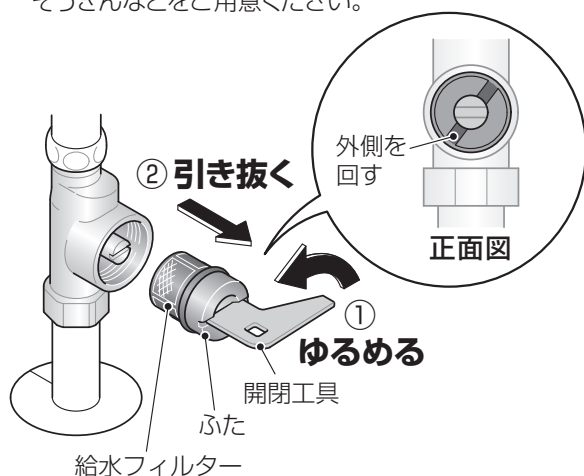
点検口の開けかた(FDの場合) P.11

- ② 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

- ③ 給水フィルター・ふたを付属の開閉工具で外す

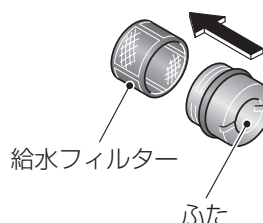
※ 少量の水がこぼれる場合がありますので、ぞうきんなどをご用意ください。



- ④ 給水フィルターをブラシなどで掃除する



- ⑤ 給水フィルター・ふたを元どおりに取り付ける



- ⑥ 止水栓を回し、適当な吐水量に調整する

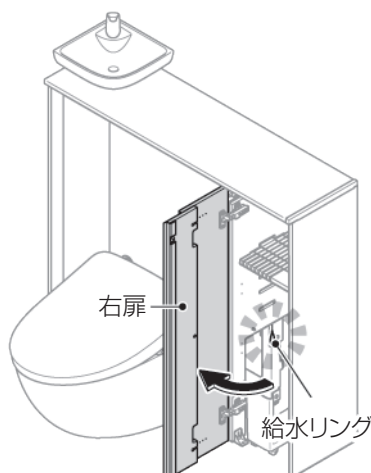
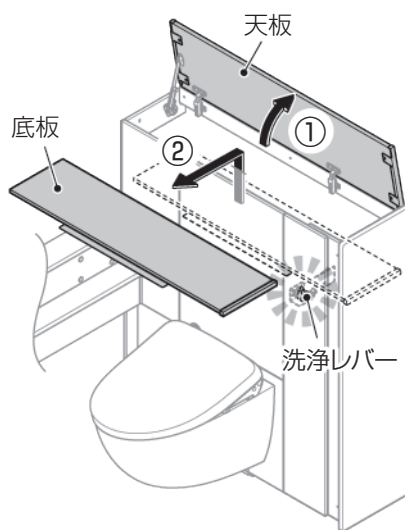
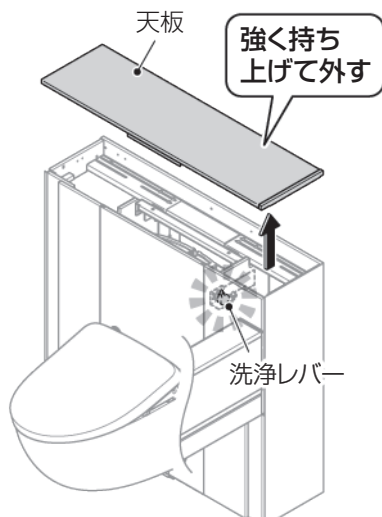
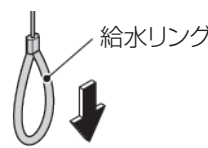
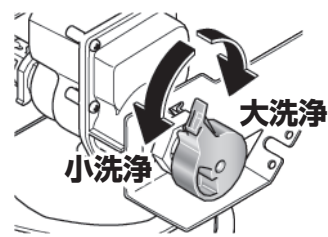
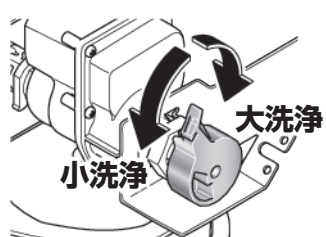
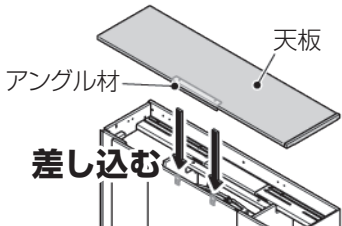
水勢調整 P.38

- ⑦ キャビネットの扉／点検口を閉める

停電やリモコンの電池が切れたとき

※ 図は洗浄レバー、給水リングが右側にある場合です。給水リングは左側に付く場合もあります。

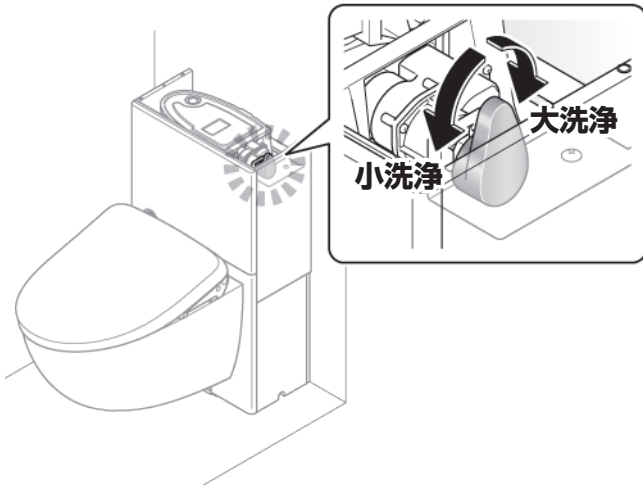
レストパルF／レストパル

I 型		L 型	
手洗器あり	手洗器なし	天板下収納あり	天板下収納なし
① 扉を開ける 	① 天板を開け、底板を外す 	① 天板を外す  ※ 天板はキャビネットに強力に固定されています。壁のクロスなどに十分気を付けながら取り外してください。	
② 給水リングを止まる位置まで引く 	② 洗浄レバーを回す 	② 洗浄レバーを回す 	
③ 給水リングを離す 	③ 底板、天板を戻す	③ 天板のアングル材を前板の金具に差し込む 	

① 天板を外す



② 洗浄レバーを回す

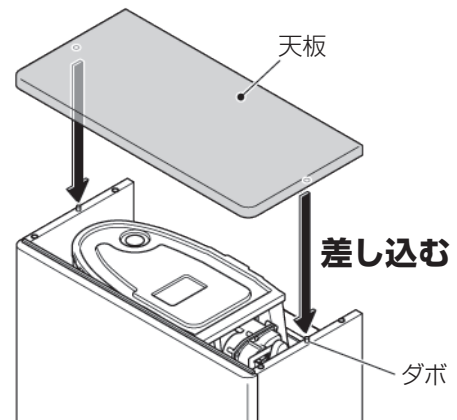


③ 天板を戻す

天板が木質の場合

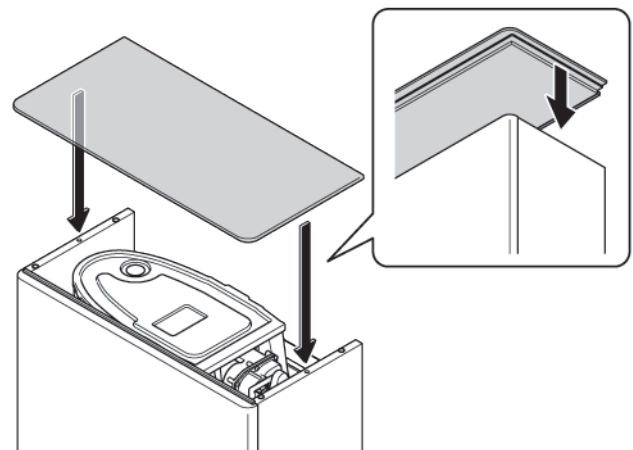
天板をコアキャビネットのダボに差し込む

※ ダボが外れた場合は、ダボをコアキャビネットに差し込んでください。



天板がセラミックの場合

天板の段差部分をキャビネットに載せる



断水の時

① 大便器ボウル面の中心に水を勢よく流す (8Lが目安)

※ 大便器ボウルから水があふれないように注意してください。

② 図の水位まで水をつぎ足す (大便器配管からのにおい防止)



※ 図はFDの場合

大便器が詰まったとき

⚠ 注意



禁止

詰まった状態で水を流さない

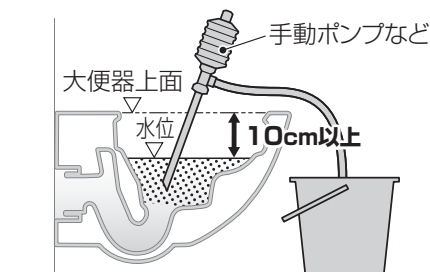
污水があふれ、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② 手動ポンプなどを使い、水位を大便器の 上面より10cm以上低くする

(污水あふれ防止)

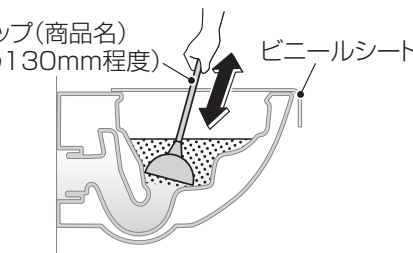


※ 図はレストパルF／FDの場合

③ ラバーカップをゆっくりと押し込んで 便器に密着させる

ラバーカップ(商品名)
※ 中型(φ130mm程度)

ビニールシートなど



④ 一気に引き上げる

※ トイレットペーパー以外の物が詰まった場合、詰まりを押し流すのではなく、引き出してください。
配管が詰まる原因となります。

⑤ トイレ詰まりが直ってない可能性があるため、 バケツでゆっくり水を流す

※ 詰まりを解消できない場合、専門業者へ依頼してください。

⑥ 止水栓を開ける

止水栓の開けかた P.11

冬場の凍結を防ぐ

凍結予防には2通りの方法があります。凍結が予想されるときは、以下の処置を行いましょう。

- 商品が凍結すると機器が破損します。（水漏れの原因）
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が凍結予防限界温度以下にならないようにしてください。

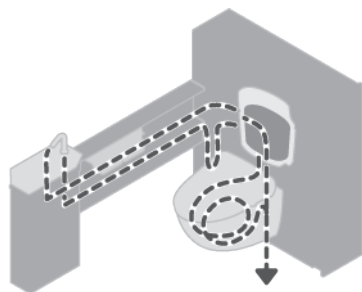
流動方式

少量の水を流し続けて凍結を予防します。

水は動いていると0℃以下でも凍りにくい性質があります。

※ タンクの流動レバーを開けた場合、水が流れ続けますので、水道代が加算されます。（目安：90L/時）

※ ウォシュレット部に流動方式はありません。



レストパルF／レストパル



FD

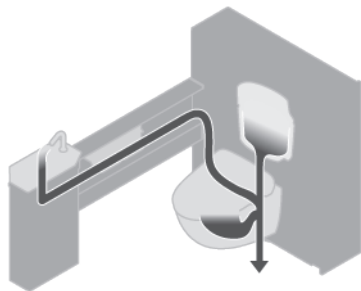
凍結予防限界温度

大便器・タンク	-10℃
手洗器部	-10℃

水抜方式

器具および配管中の水を抜いて凍結を予防します。

参照 ウォシュレットの取り扱いについて：ウォシュレットに同梱の取扱説明書



レストパルF／レストパル



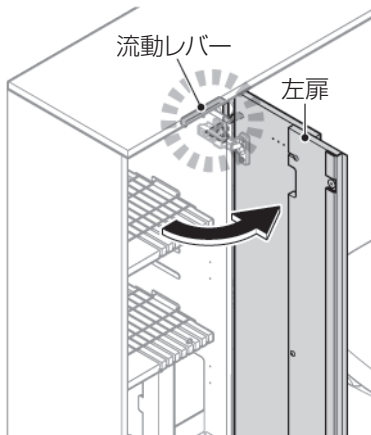
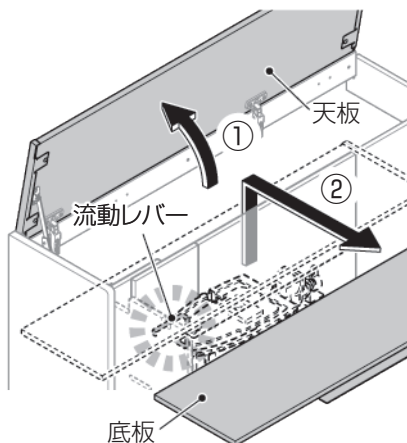
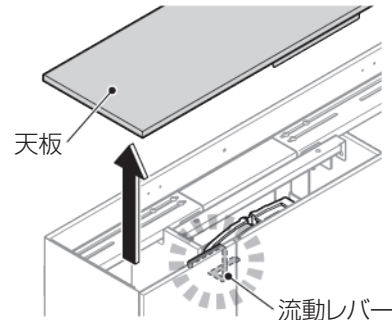
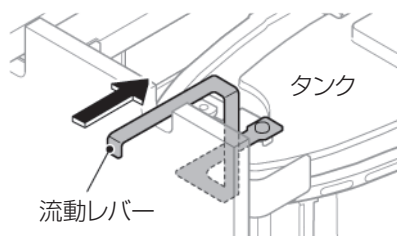
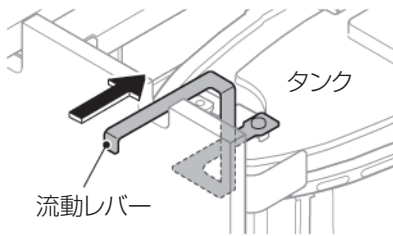
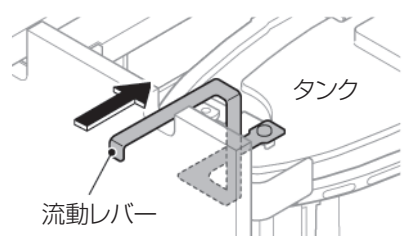
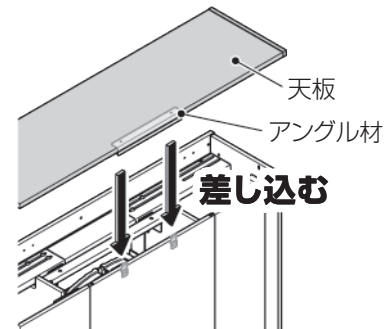
FD

凍結予防限界温度

大便器・タンク	室内暖房用	0℃
	ヒーター付便器併用 ※レストパルのみ	-15℃
ウォシュレット部		0℃
手洗器部		0℃

大便器部

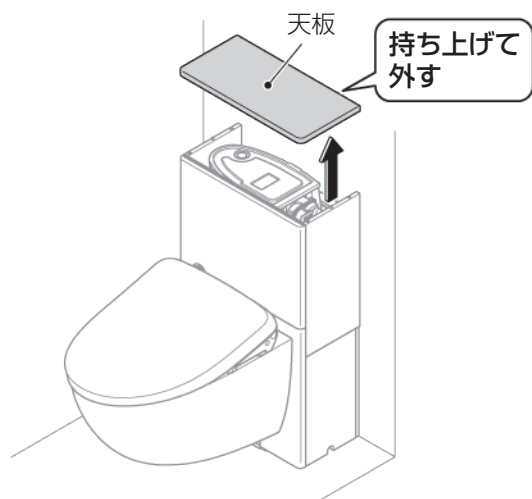
流動方式

I 型		L 型	
手洗器あり	手洗器なし	天板下収納あり	天板下収納なし
① キャビネットの扉を開ける 	① キャビネットの天板を開け、底板を取り外す 	① キャビネットの天板を取り外す  ※ 天板はキャビネットに強力に固定されています。壁のクロスなどに十分気を付けながら取り外してください。	
② 流動レバーをタンク側へ押し込む ※ 再使用の場合、流動レバーを横壁側へいっぱい引っ張ってください。 	② 流動レバーをタンク側へ押し込む ※ 再使用の場合、流動レバーを横壁側へいっぱい引っ張ってください。 	② 流動レバーをタンク側へ押し込む ※ 再使用の場合、流動レバーを横壁側へいっぱい引っ張ってください。 	
③ 扉を閉める	③ 底板、天板を戻す	③ 天板のアングル材を前板の金具に差し込む 	

大便器部

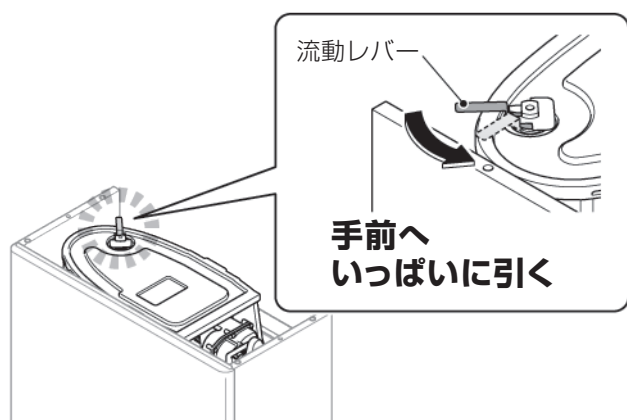
流動方式

① 天板を外す



② 流動レバーを操作する

※ 流動水を止める場合は流動レバーを逆側に操作してください。

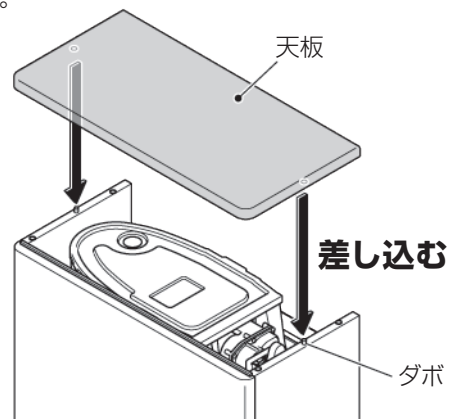


③ 天板を戻す

天板が木質の場合

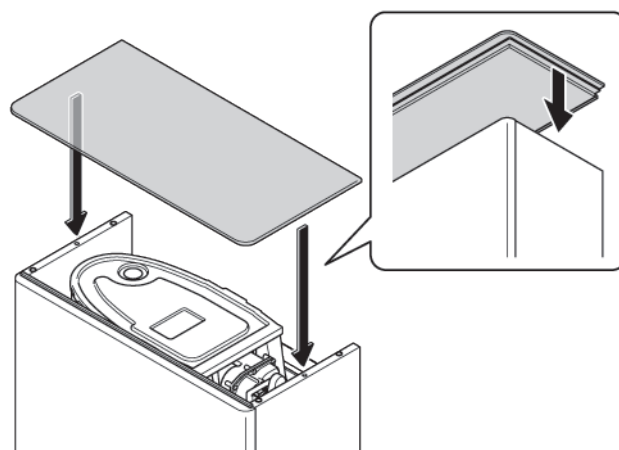
天板をコアキャビネットのダボに差し込む

※ ダボが外れた場合は、ダボをコアキャビネットに差し込んでください。



天板がセラミックの場合

天板の段差部分をキャビネットに載せる



大便器部

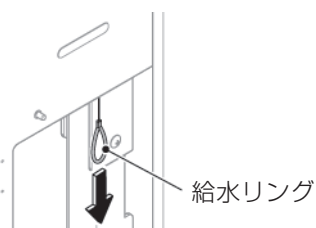
水抜き方式

- ① キャビネット扉を開ける
- ② 水抜き栓（他社商品）またはキャビネット内の止水栓で、給水を止める
- ③ 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

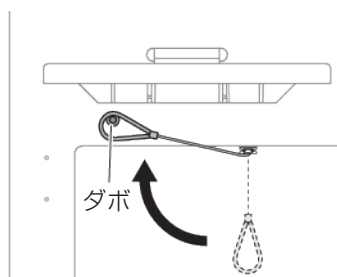
※ 凍結のおそれがないときはヒーター付タンク用電源プラグは抜いてください。

I型（手洗器あり）

- ④ 給水リング側のキャビネット扉を開ける
- ⑤ 給水リングを止まる位置まで引く



- ⑥ 給水リングを離す
- ⑦ 給水リングを引っ張ってダボに引っかける



- ⑧ タンク内の水が大便器に流れる
- ⑨ 扉を閉める

I型（手洗器なし）／L型

注意

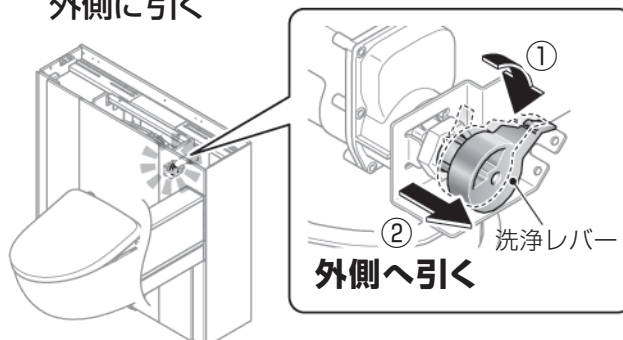


洗浄レバーの操作は手順に従って行う
破損の原因となります。

- ④ 天板／底板を外す

天板／底板の外しかた P.32

- ⑤ 洗浄レバーを、奥側いっぱい回したまま外側に引く



- ⑥ レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける
- ⑦ 天板／底板を戻す

長時間使わないとき

- ・ 大便器内にたまっている水は、不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
- ・ 不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。
- ・ 大便器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

I型（手洗器あり）

- ① 給水リングをダボから外す
- ② 水抜き栓またはキャビネット内の止水栓を操作して通水状態にする

I型（手洗器なし）／L型

- ① 洗浄レバーを内側に押し込んで上向きに回す
- ② 水抜き栓またはキャビネット内の止水栓を操作して通水状態にする

大便器部

水抜き方式

⚠ 注意



必ず守る

洗浄レバーの操作は手順に従って行う
破損の原因となります。

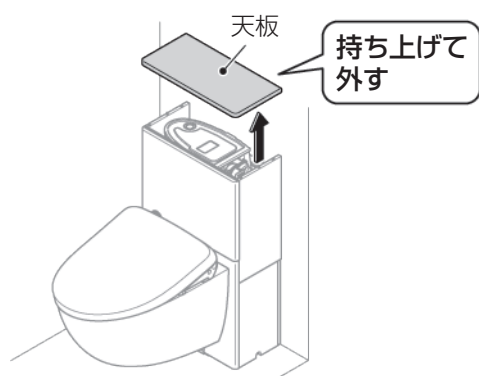
- ① 左側の点検口を開ける
- ② 水抜き栓（他社商品）またはキャビネット内の止水栓で、給水を止める

参照 水抜き栓の操作方法：水抜き栓に同梱の取扱説明書

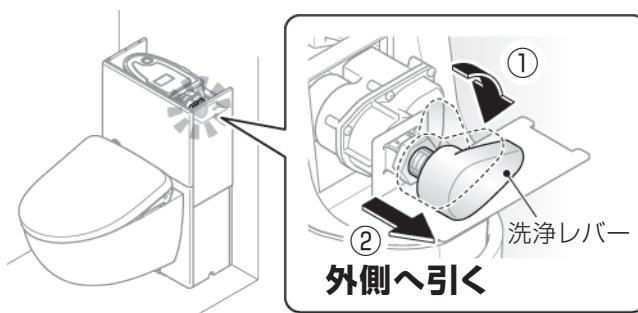
- ③ 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

※ 凍結のおそれがないときはヒーター付タンク用電源プラグは抜いてください。

- ④ 天板を外す



- ⑤ 洗浄レバーを、奥側いっぱいに戻したまま外側に引く



- ⑥ レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける

- ⑦ 天板を戻す

天板が木質の場合

天板をコアキャビネットのダボに差し込む

天板がセラミックの場合

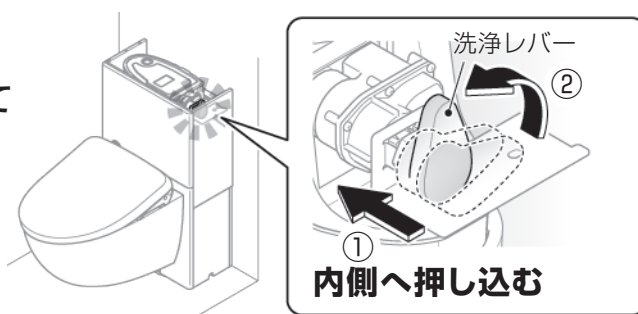
天板の段差部分をキャビネットに載せる

長時間使わないとき

- ・ 大便器内にたまっている水は、不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
- ・ 不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。
- ・ 大便器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

- ① 洗浄レバーを内側に押し込んで上向きに回す
- ② 水抜き栓またはキャビネット内の止水栓を操作して通水状態にする



手洗器部

流動方式（ハンドル式水栓のみ）

止水栓のハンドルを開き、少量の水を流す

※ 再使用の際は、ハンドルを戻してください。

水抜き方式

ハンドル式水栓

① 水抜き栓（他社商品）を操作し、給水を止める

参照 水抜き栓の操作方法：水抜き栓に同梱の取扱説明書

※ 止水栓は開けたままにしておいてください。

② 手洗器の水栓のハンドルを開ける（2～3分で水が抜ける）

③ 水抜きが終わったら、水栓のハンドルを閉める

自動水栓

！ 注意



必ず守る

機能部フィルターは奥まで確実に取り付ける
機能部フィルターがきちんと取り付けしていない
場合、通水の際に水漏れにより家財などをぬらす
財産損害発生の原因となります。

① 水抜き栓（他社商品）を操作し、給水を止める

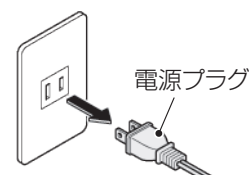
参照 水抜き栓の操作方法：水抜き栓に同梱の取扱説明書

※ 止水栓は開けたままにしておいてください。

② センサーにかざして、吐水口から水が出ないことを確認する



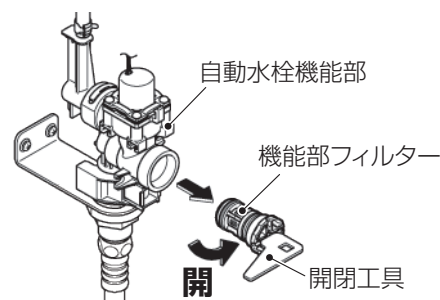
③ 電源プラグを抜く



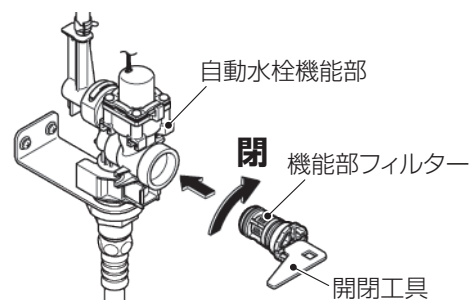
④ キャビネットの扉を開け、自動水栓機能部に組み込まれているフィルターを開閉工具で外す

※ 2～3分で機能部内の水が抜けます。

※ 機能部フィルターを外した際に、微量の水が出てくるため、トレイなどで水受けを行ってください。



⑤ 機能部フィルターを取り付ける

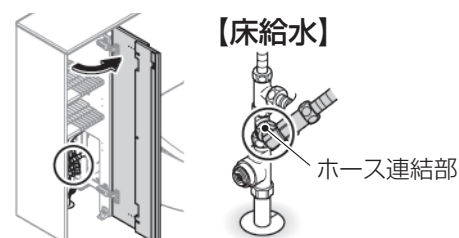


長期間使わないとき

- ・ 水抜き後、手洗器排水口に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
- ・ 不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。
- ・ L型手洗器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

ハンドル式水栓の水が出ないときは、キャビネット左扉を開けてホースの連結部をお湯に浸した布であたためてください。



サイドカバーの着脱

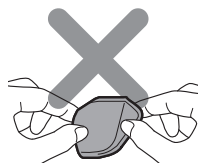
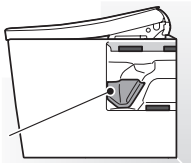
⚠ 注意



禁止

結露防止カバーを取り外さない
再度取り付けることができません。
結露水が床をぬらす原因となります。

結露防止カバー

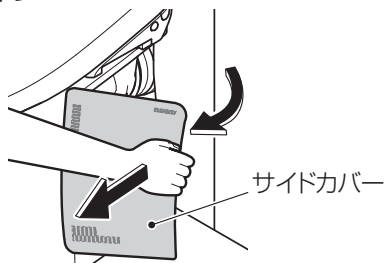


必ず守る

お手入れの際は、
結露防止カバーは
柔らかい布でふく

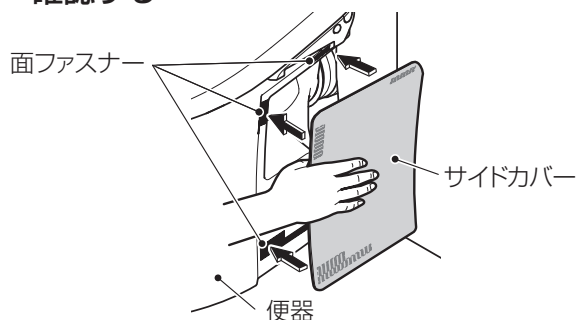
はかま目地材なしの場合（壁排水）

- ① サイドカバーの後方を手前方向に
引っ張り外す

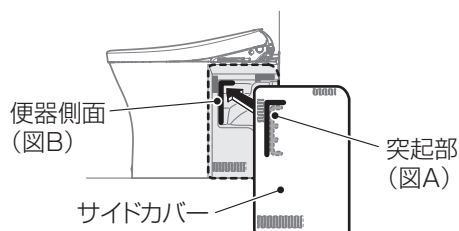


- ② サイドカバーの面ファスナーと便器の
面ファスナーの位置をあわせて取り付ける

- ③ 面ファスナー部（3カ所）をしっかり
押さえてサイドカバーが外れないことを
確認する

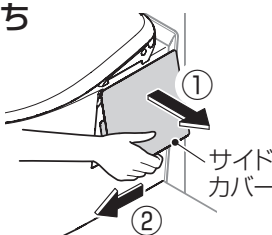


サイドカバーの裏面突起部（図A）と
便器側面（図B）の位置をあわせると容易
に取り付けることができます。

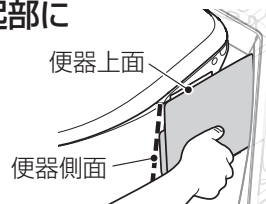


はかま目地材ありの場合（床排水）

- ① サイドカバー下部を持ち
横に引っ張り、
サイドカバーを手前へ
引っ張り外す



- ② はかま目地材をめくり、サイドカバーを
便器上面・側面の突起部に
あわせて差し込む



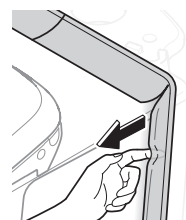
- ③ 面ファスナー部をしっかり押さえ、
はかま目地材を手前に引き出す

※ 面ファスナー部をしっかり押さえてサイドカバーが
外れないことを確認してください。

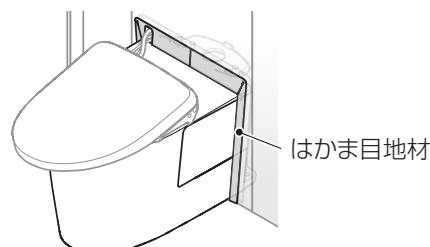
はかま目地材がめくれた場合

はかま目地材がズレていたり、奥に入り込んだ場合は手で戻して
ください。

- ① はかま目地材とのすき間に
手を入れ、はかま目地材を
引き出し、ズレを調整する

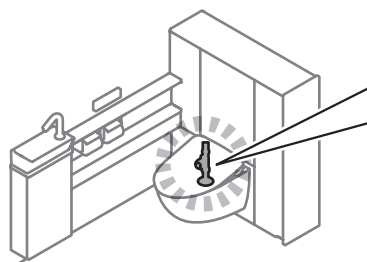


- ② めくれている箇所がないか確認する

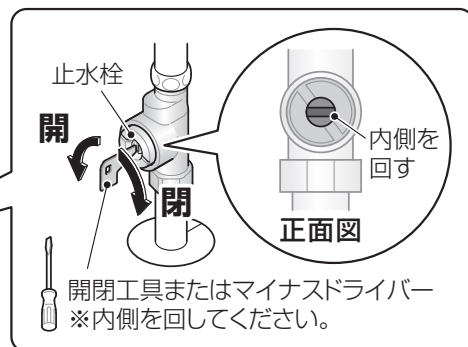


水勢調整

- ① 止水栓のあるキャビネットの扉を開ける
- ② 止水栓を回して調整する



※ 図はレストパルF (L型) の場合

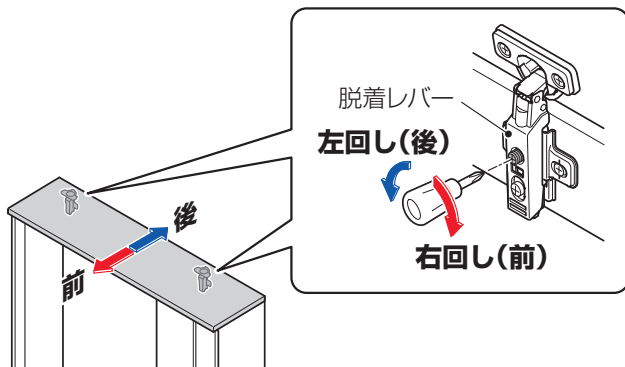


天板の調整 (まるごと収納タイプの場合)

使用上のご注意

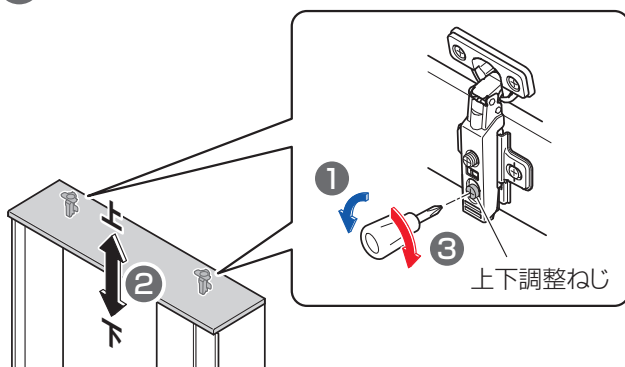
調整後固定ねじをしっかりと締め付けてください。
締め付けていない場合は、天板が外れるおそれがあります。

前後を調整する場合



上下を調整する場合

- ① ゆるめる(左回し)
- ② 扉を動かす
- ③ 締める(右回し)



閉まる速さを調整する場合

⚠ 注意

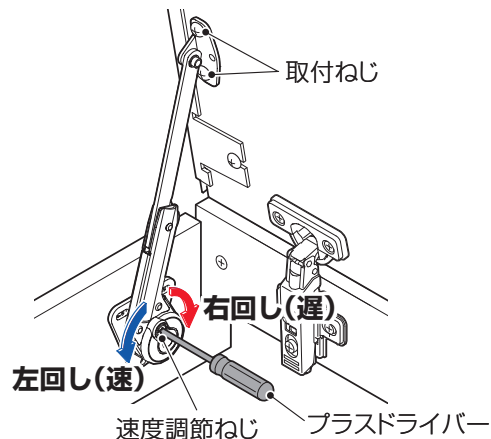


禁止

- ・ 調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。
- ・ 分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

長年の使用により、閉まる速度が速くなります。
適宜調整してください。

- ※ 速度調節部は、限度以上に回さないでください。
- ※ 温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。
- ※ 取付ねじに緩みがないことを定期的に確認してください。
緩みがあった場合は、増し締めを行ってください。





扉の調整

長年のご使用でキャビネット扉のすき間が不均一になったときは、ご自身で調整いただくか、取付店にご相談ください。

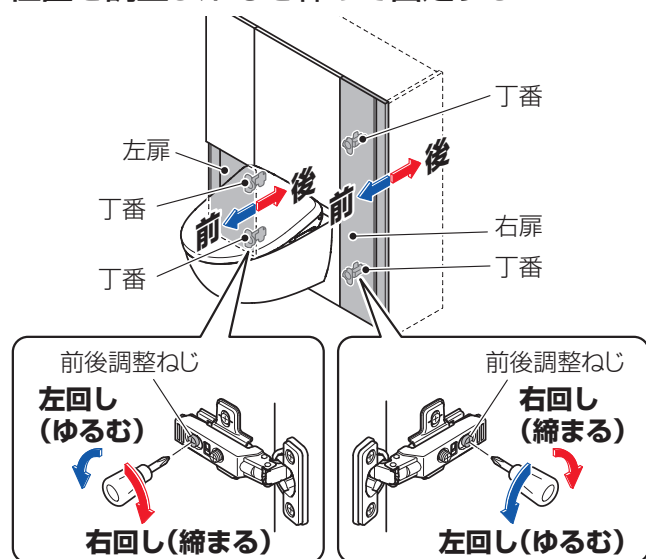
なお、TOTOメンテナンス(株)においても扉調整を承っておりますが有料作業になります。

お問い合わせ先 裏表紙

大便器キャビネット

前後を調整する場合

ねじをゆるめ、扉を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定する

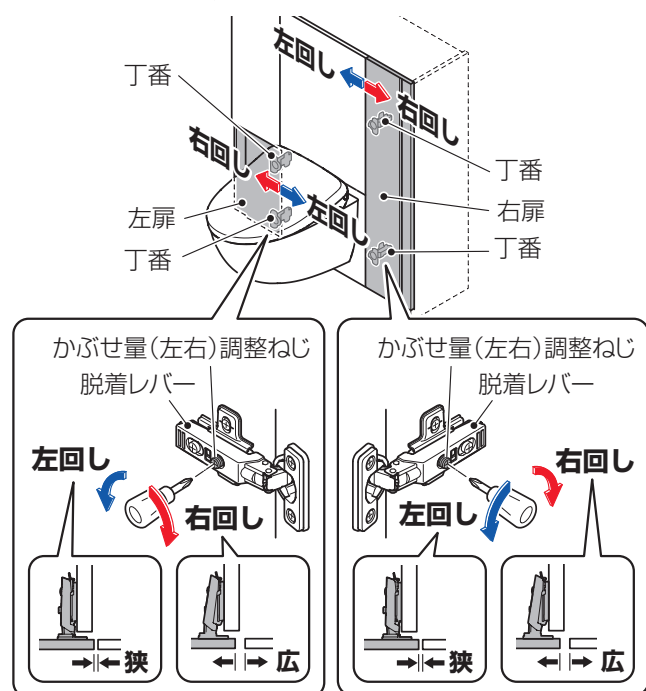


※プッシュラッチ部も前後調整できます。



左右を調整する場合

ねじを回すと、扉が動く

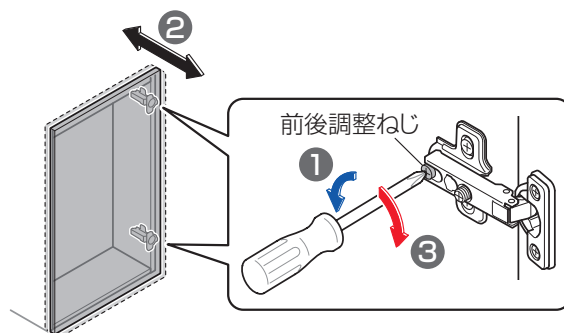


手洗器キャビネット

※ レストパルF／レストパルL型のみ

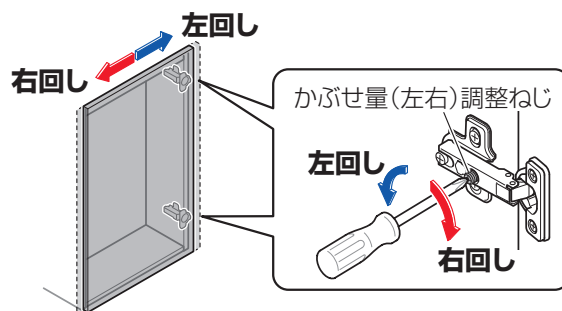
前後を調整する場合(右開き)

- 1 ゆるめる(左回し) ※ 左開きも同様です。
- 2 扉を動かす
- 3 締める(右回し)



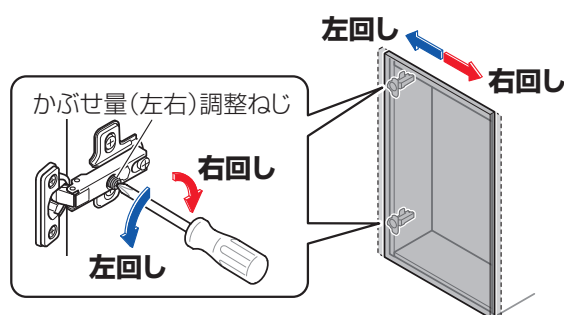
左右を調整する場合(右開き)

ねじを回すと、扉が動く



左右を調整する場合(左開き)

ねじを回すと、扉が動く



トイレを長期間使わない場合

- ・トイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。 **大便器部の水抜き** P.34・35

参照 ウォシュレットの取り扱いについて：ウォシュレットに同梱の取扱説明書

- ・長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。 **止水栓の閉めかた** P.11
 こうしておけば留守中に水漏れを起こさず、安心です。

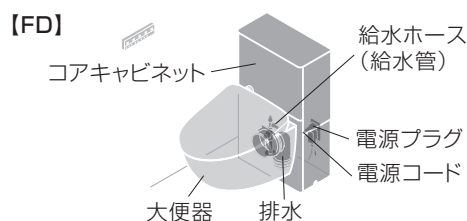
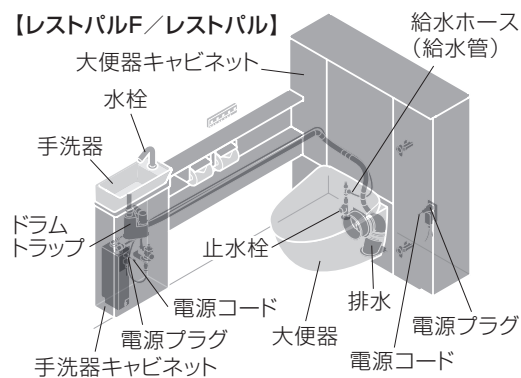
定期的な点検

- ウォシュレットの逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。（水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因となります。）

- 機能部品は、お求め日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検はTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご依頼ください。

お問い合わせ先 裏表紙

- 経年劣化による重大事故を防ぎ、より長く、安心・快適にお使いいただくために、お客様ご自身で以下の点検をしてください。 **各部のなまえ** P.4・5



※ 商品により各器具の配置は異なる場合があります。

共通					
点検部位	点検項目	危害情報	点検時期	実施日（年 / 月 / 日）	
キャビネット	木口のささくれ、ふやけ、膨れ	けが	年1回以上	/ /	/ /
大便器	傷、ひび割れ	けが、床への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
電源コード	傷み、挟み込み、つぶれ、折れ曲がり	火災、感電	年1回以上	/ /	/ /
	異常に熱い、異常音、異臭	やけど、火災、感電	年1回以上	/ /	/ /
電源プラグ	ほこりの付着	やけど、火災	月に1回	/ /	/ /
給水ホース（給水管）	傷み、挟み込み、つぶれ、折れ曲がり	床や階下への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
	電源プラグに接触	火災、感電	年1回以上	/ /	/ /
	水漏れ	床や階下への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
止水栓	がたつき、ゆるみ	床や階下への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
	水漏れ	床や階下への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
排水	傷、ひび割れ	床や階下への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
	水漏れ	床や階下への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
レストパルF/レストパル					
点検部位	点検項目	危害情報	点検時期	実施日（年 / 月 / 日）	
水栓	湯温変化が激しい	やけど	年1回以上	/ /	/ /
	金具のがたつき	床や階下への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
手洗器	傷、ひび割れ	けが、床への水漏れ	年1回以上	/ /	/ /
キャビネット	扉の丁番・ヒンジ（開閉部品）のがたつき、外れ	落下によるけが	年1回以上	/ /	/ /
ドラムトラップ	手洗器の排水詰まり	床や階下への水漏れ	年2回以上	/ /	/ /

メンテナンス スケジュール

詳細情報を見る

メンテナンススケジュール



このスケジュールは、商品の部品交換や調整、本体交換時期のおおよその目安を記載しています。
維持・管理の目安にご活用ください。
なお、商品に不具合が生じた場合は、早めに対応してください。

定期的な 部品交換や調整		5年	10年	15~20年
キャビネット	点検項目	扉のがたつき		
	部品交換	丁番など ※		
	本体交換	ご使用状況に応じ キャビネット交換のご検討		
ハンドル式水栓・ ハイバックタイプ 手洗器自動水栓	点検項目	止水・吐水状態、ハンドルのがたつき		
	部品交換	バルブユニット、パッキン、 吐水口部、機能部フィルターなど ※		
	本体交換	ご使用状況に応じ 水栓金具交換のご検討		
タンク	点検項目	止水・吐水状態		
	部品交換	ダイヤフラム、パッキン・ 止水栓フィルターなど ※		
	本体交換	ご使用状況に応じ タンク交換のご検討		
やわらかフロア ライト	点検項目	LED照明の点灯状態		
	部品交換	LED、センサーなど ※		
	本体交換	ご使用状況に応じ LED照明一式交換のご検討		
その他商品に 設置されている 器具	点検項目	電気温水器、ウォシュレット、自動水栓などの組込機器類は 各器具の取扱説明書をご確認ください		
	部品交換	便器洗浄ユニット、バルブユニット、 パッキン、機能部フィルターなど ※		
	本体交換	ご使用状況に応じ 各器具の交換のご検討		

商品のお取替えをご検討

※ 補修用性能部品の供給が終了し、部品での修理対応ができない場合は、本体またはユニットでの交換対応となります。
その際は、後継機種での対応や後継機種で対応できない場合は個別に交換対応の検討が必要となり、外観および機能が異なる場合があります。

【ご使用期間の目安について】

本商品のご使用期間の目安は20年です。この目安は、適切な維持管理（点検、機器・器具・部品交換、調整）を行いながらご使用いただいた場合に、安全上支障が生ずるおそれが著しく少ない期間としたものです。本目安は無料保証期間とは異なります。

また、期間中の偶発的な故障を保証するものでもありません。

一般家庭用以外（事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所）に設置の場合は、使用条件により、目安の時期より早く劣化が進むおそれがあります。

Q こんなときは

故障かな?と思ったら

■ 下表をご確認ください

■ それでも直らないとき

取付店、販売店、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

お問い合わせ先 ▶ 裏表紙

現象	原因	処置	参照
水が出ない (流れない)	給水フィルターや吐水口にゴミが詰まっている。	給水フィルターや吐水口キャップの掃除をしてください。 それでも直らないときには修理を依頼してください。	P.24 P.25 P.27
	フィルター付止水栓が開いていない。	フィルター付止水栓を開いてください。	P.11
	停電またはリモコンの電池が切れている。	電池を交換してください。 緊急時に水を流したい場合は洗浄レバーで水を流してください。	P.28 P.29
	断水中である。	回復するまでお待ちいただくか、参照ページをご覧ください。	P.30
流量が少ない	給水フィルターや吐水口にゴミが詰まっている。	給水フィルターや吐水口キャップの掃除をしてください。 それでも直らないときには修理を依頼してください。	P.24 P.25 P.27
	フィルター付止水栓が十分に開いていない。	フィルター付止水栓を十分開くように調整してください。	P.11
	ほかで水を使用したり、断水などにより給水圧が低下している。	回復するまでお待ちください。	—
水の出が悪い… タンクに水がたまるのが遅い(目安2分以上)	給水フィルターにゴミが詰まっている。	給水フィルターの掃除をしてください。 それでも直らないときには修理を依頼してください。	P.27
水が漏れる 床と便器の間、および、 キャビネット内部に 水が漏れている	止水栓、給水管の結露。 (結露は梅雨時期などに多く発生する もので故障ではありません)	乾いた布でふき取って部屋の換気をしてください。	—
	上記以外	止水栓を閉めて修理を依頼してください。	—
水が止まらない	給水リングがダボに引っかけられた ままになっている。	ダボから給水リングを外してください。※	—
やわらかフロアライト (LED照明)がつかない ※ レストパルF、FDのみ	電源プラグを抜いている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P.10
	停電している。	回復するまでお待ちください。	—
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーを上げてください。	—
	センサーの近くに金属物がある。	金属物を移動してください。	—
	上記以外	参照ページをご覧ください。	P.16
手洗器排水口の 詰まりが解消されない	ドラムトラップ内に汚れがたまっている。	ビニールをかぶせ、掃除口を開けてドラムトラップの中 のたまり水を出してください。	P.26

※ 万一、上記の箇所を調べてみても、止水しない場合は、フィルター付止水栓を閉めて修理を依頼してください。

Q&A

あなたの疑問にお答えします

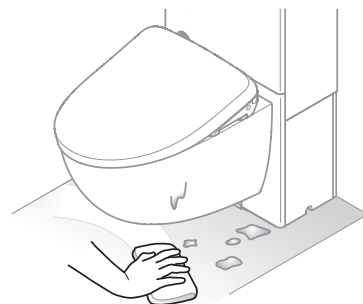
Q 便器まわりにできる黒いシミの原因は？

A 小水中のアンモニアや梅雨時の結露の水が原因です。

立位で小水をする際に、便器内の当たる場所によっては小水がはね返る場合があります。特に、木質系のフローリング床でそのまま放置されると小水中のアンモニアによって黒いシミが発生することがあります。

Point

床にこぼれた水分は、すぐにふき取るようにしましょう。

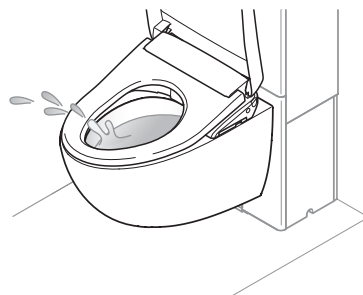


Q トイレを使ったときの、あのイヤな「おつり」はなくせないの？

A 水たまりにあらかじめトイレットペーパーを浮かべておくと予防できます。

トイレ使用時の水はね、俗にいう「おつり」は便器に水たまりがあることが原因です。

- 汚物の形や量などによっては水がはね返ってくることがありますが、この水たまりには下水からの臭気を遮断する大切な役目があるため、なくすことはできません。



Q 便器内に汚物は付着しないの？

A 汚物の種類や粘性によっては付着する場合があります。

便器ボウル内の乾燥面だけでなく便器内の水がたまっているところにも汚物が付着する場合があります。

- 便器の洗浄水だけでは洗い流せないことがあります。 **大便器内面** P.21

Q 便器内の黒色やピンク色の汚れの原因は？

A カビの孢子やバクテリアが繁殖したものです。

便器の水たまり部や水出し穴付近などが黒く変色したり、ピンク色の汚れが付くことがあります。これは空気中に浮遊しているカビの孢子やバクテリアが便器に付着した汚れを栄養にして繁殖したものです。

Point

汚れた場合は、トイレ用中性洗剤をトイレブラシなどに付けてこすり落としてください。 **大便器内面** P.21

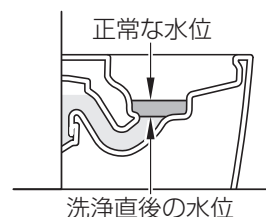
Q

便器洗浄後、なぜすぐに水は止まらないの？

A

サイホン作用を利用するタイプの便器は、洗浄後約1分間水を補給する仕組みになっています。

サイホン作用を利用する便器では、洗浄時にサイホンが起こり、便器にたまった水がほとんどなくなってしまう。このままの状態では臭気があがってきたり、次の洗浄のときに支障が出るため、元の位置まで水を戻しておく必要があります。



Q

なぜ便器の表面に水滴が付くの？

A

ガラスのコップに氷水を入れると、たちまちコップが汗をかくように、便器も汗をかくことがあります。

この汗を結露と言います。湿度が高く水温と室温の差が大きいほど発生しやすく、地下水を利用している場合や湿度の高い梅雨時、あるいは冬の暖房時などによく見られます。

※ 防露便器でも、室温と水温の差が15℃以上で室内の湿度が80%に達すると結露することがあります。

Q

汚物排出後に「ゴボッゴボッ」と音がする原因は？

A

便器内の水が排出される際に、同時に引っ張られた空気と便器内の水が交じり合って発生する音です。

便器の異常ではありません。

参考) ストローでジュースを飲む場合、コップの底にたまったジュースを吸うときに「ジュジュ」と音がしますが、それもジュースと空気を同時に吸い込むために発生する音で、基本的には同じ現象です。

Q

バリウム残りはなくせないの？

A

あらかじめトイレットペーパーを敷いていただくと、若干排出がよくなります。

バリウムなどのように水に不溶で比重が大きい物の排出につきましては、一度の洗浄では流れきれない場合があります。完全に流せない場合は、便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで溜水と混合したあとに数回洗浄してください。

Q

細かい汚物の残りはなくせないの？

A

まれにですが、一度の洗浄では流しきれない場合があります。

汚物の種類(下痢便など柔らかい軽い汚物など)によっては流しきれない場合があります。その場合は、もう一度流してください。

Q

便ふたがキャビネットに当たることがありますが、故障や割れの原因となりませんか？

A

クッション材をつけていますので、故障や割れの原因にはなりません。

Q

立って小水をする場合はね返りはなくせないの？

A

座って小水をすることで軽減することができます。

立って小水をする場合、小水がはね返り、便器外へ飛び出すことがあります。便器内にたまった水などに小水が当たり発生するものです。

Q

便器洗浄後に床下から「ピシャピシャ」と音がするのはなぜ？

A

便器の封水を確保するため、若干水があふれる(オーバーフローする)音です。

その際に排水管で音(ピタ、ピチャなどの音)が発生する場合があります。

アフターサービス

修理を依頼される前に、**故障かな?と思ったら** P.42を確認してください

保証について

保証書 P.51

保証書を確認してください

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日・取付店名・扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよく確認してください。例えば、「取扱説明書・施工説明書、ラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

保証期間を過ぎた場合は?

- 修理すれば使用できる商品についてはご希望により有料で修理させていただきます。
(例：パッキン・ダイヤフラムなどの摩耗劣化部品の交換を含む)

修理依頼について：修理料金の仕組み **本ページ右部**

延長保証制度について

- 延長保証料金やお申し込み方法などの詳細は、同梱のご案内チラシまたはTOTOホームページをご覧ください。

部品の交換について

- 無料修理により取り外された部品・商品はTOTO株式会社の所有となります。

参照 ウォシュレット・電気温水器の交換部品について：同梱の取扱説明書

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用性能部品(注1)の最低保有期間は、商品の生産終了後10年(注2)です。
(注1)機能維持に不可欠な部品で使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性が大きいもの
(注2)大便器部の洗浄関連部品(ボールタップや排水弁など)は、商品の生産終了後15年です
- 補修用性能部品の保有期間が経過いたしますと修理できない場合があります。
- 保有期間内においても代替品(仕様・形状・材質などが異なる部品)での提供の場合がありますので、ご了承願います。
- 水栓金具、ウォシュレット、電気温水器などの組込機器類は、専用の取扱説明書に保有期間を記載しておりますので、ご参照ください。
- 面材については、生産終了後2年間保有しております。保有期間経過後は、新シリーズの扉などにて対応させていただきますので、ご了承ください。

修理依頼について

修理のご用命 **裏表紙**

修理を依頼されるときは

- 各商品に同梱の「取扱説明書」をもう一度ご確認ください。ご相談の際は、次のことをご連絡ください。

- ①ご住所・ご氏名・お電話番号
- ②商品名
- ③商品品番
- ④ご購入日
- ⑤故障内容、異常内容(できるだけ詳しく)
- ⑥訪問ご希望日

ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先

- 「TOTO(株)お客様相談室」または「TOTOメンテナンス(株)修理受付センター」

お問い合わせ先 **裏表紙**

修理料金の仕組み

- TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼の場合修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理をさせていただきます。ただし、補修用性能部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

標準修理料金は

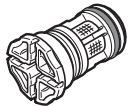
技術料 + **部品代** + **訪問料** で構成されています

※ 標準修理料金以外で発生した費用につきましては、ご請求させていただく場合があります。

交換部品について

下表の交換部品はご自分でお取り替えできます。点検時に破損したり、正常に作動しないときなどは交換してください。お客様がご自分で交換できる部品は下表の部品のみです。その他の部品は修理技術者の方へ依頼してください。交換部品をご購入するときは、「TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター」にお問い合わせください。

お問い合わせ先 **裏表紙**

部品名	機能部フィルター	止水栓用給水フィルター
形状		
品番	TH5J0392	TH66435A
参照ページ	P.25	P.27
交換頻度の目安	点検時に破損したり、汚れが落ちないときなどは交換してください。	

仕様

参照 ウォシュレット、電気温水器の仕様：各器具同梱の取扱説明書

シリーズ名		レストパルF	レストパル	FD	
タイプ		壁掛タイプ	床置タイプ	壁掛タイプ	
対応間口		750～960mm※4（レストパル室内排水立管対応タイプ：615～720mm）			
便器	防露便器 セフィオンテクト				
	洗浄方式		トルネード洗浄		
	便器標準洗浄水量		大4.8L／小3.6L／eco小3.4L／オートeco小3.4L（F4A・F3Aのみ）※1		
	水たまり面		小さい		
	給水方向		壁給水／床給水※2		
	排水方向		壁排水／床排水		
	排水位置	床排水	排水心120タイプ：壁から120mm 排水心200タイプ：壁から200mm	排水心200タイプ：壁から200mm 排水心可変タイプ：壁から355～590mm（まるごと収納タイプ※3） 排水心可変タイプ：壁から275～510mm（スリム収納タイプ）	排水心120タイプ：壁から120mm 排水心200タイプ：壁から200mm
			壁排水	排水心高さ90～155mm（後ろ抜き／左右抜き）	
	寒冷地対応（床排水のみ）		水抜き方式（室内暖房併用）／流動方式	ヒーター付便器・水抜き併用方式／水抜き方式（室内暖房併用）／流動方式	水抜き方式（室内暖房併用）／流動方式
	給水圧力		最低必要水圧（流動時）：0.05MPa 最高水圧（静止時）：0.75MPa		
	給水温度		0～35℃		
	周囲使用温度範囲		0～40℃		
	タンク	材質	樹脂製（防露タンク）		
ヒーター付便器	定格消費電力	—	25W	—	
	定格消費電力（電源プラグコンセント）		1500Wまで		
ヒーター付タンク	定格消費電力	2W			
キャビネット	前板／扉	木質＋シート張り			
	天板	木質＋シート張り		磁器質／木質＋シート張り	
カウンター	材質	木質＋シート張り		—	
手洗器	材質	陶器製 セフィオンテクト			
自動水栓（L型手洗器）	定格消費電力	待機時0.4W（最大値3W） 作動時0.6W（最大値5W）			
	使用環境温度	1～40℃			
	吐水流量	2L／分			
やわらかフロアライト	定格消費電力	4.0W			
	光源	LED（温白色）			
定格電源		AC100V 50/60Hz			

※1 オートeco小は、男子小用時 (立ち姿勢) のオート便器洗浄のみ。

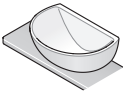
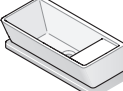
※2 寒冷地仕様 (水抜き方式) の場合は床給水のみとなります。排水管左右抜きの場合は、床給水に対応していない場合があります。

※3 I型・手洗器ありの場合は収納タイプ。

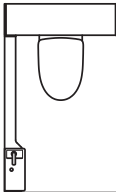
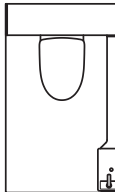
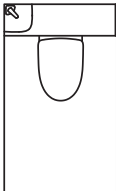
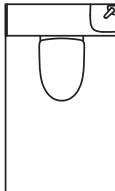
※4 タイプによって設置できる間口が違います。

● この商品は、日本国内専用品です。

手洗器・水栓のバリエーション

	ベッセルタイプ(丸形)	ベッセルタイプ(角形)	ハイバックタイプ
手洗器			
水栓	自動水栓  ハンドル式水栓 	自動水栓  ハンドル式水栓 	自動水栓  ハンドル式水栓 

手洗器位置

	左勝手	右勝手
L型		
I型		

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散区分などに関する表示

ホルムアルデヒド発散区分	F☆☆☆☆ (住宅部品表示ガイドラインによる)		
構成材料	ホルムアルデヒド発散建築材料		発散区分
	木質製	パーティクルボード	F☆☆☆☆
		MDF	F☆☆☆☆
		合板	F☆☆☆☆
	接着剤		F☆☆☆☆
VOC放散性能	4VOC*基準適合(木質建材)		
表示ルール	住宅部品 VOC 表示ガイドラインによる		

※ 4VOC：トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン

MEMO

MEMO

MEMO

保証書

この保証書は、保証書の記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
お取付日から下記期間中に故障が発生した場合は、この保証書をご提示のうえ、取付店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センター 〒105-8306 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング
TEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120-1010-02 に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ		様
	おところ ㊦		
取付店名			印
	㊦ TEL - -		
お取付日		年 月 日	
備考			

品 名	・レストパルF ・レストパル ・FD	
品 番	UWR/UWT/UWU系	
保証期間	本 体	電気機器
	お取付日から 2ヵ年	お取付日から 1ヵ年

お客様へ

本書をお受け取りになるときに、取付店名・扱者印・お取付日が記入されていることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、表記の期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、取付店または TOTO メンテナンス(株)修理受付センターにご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してある取付店に修理がご依頼できない場合には、TOTO メンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- 本書(この保証書)の提示がない場合
- 本書(この保証書)にお客様名、取付店名、お取付日(お引き渡し日)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間・高頻度の使用、車両、船舶などへの設置・搭載)に使用された場合の故障および損傷
- 展示品、見本品
- 指定以外の水質・水圧・水量の供給による不具合
- 異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合
- 凍結に起因する不具合
- 納入後の輸送、落下、保管環境などによる故障および損傷
- 取付上の故意、過失や施工説明書記載以外の取り付けによる不具合
- 傷などの外観の不具合で、お引き渡し時に申し出のなかったもの
- 使用上の故意、過失や取扱説明書記載以外の使用または専門業者以外による不当な修理、分解、改造による故障および損傷
- ご使用後の損傷
- お引き渡し後の移設などに起因する故障および損傷
- 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗、さび、カビ、変質、変色などの不具合

- 金属粉、砂、ごみなど異物の配管内流入、および水あか固着に起因する不具合
- 消耗部品(乾電池など)の消耗・劣化による不具合
- 適切な使用、維持管理が行われなかったことに起因する水漏れ、膨れ、汚れ、さび、詰まりなどの不具合、故障および損傷
- 日常のお手入れ箇所の摩耗・劣化による不具合(例:止水栓のフィルター・水抜栓などのパッキンやOリングなど)
- ねずみ、昆虫などの動植物に起因する不具合
- 建築躯体の変化や強度不足・強度低下など、商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合
- 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害やガス害(硫化水素ガス)、塩害、異常電圧による故障および損傷
- 戦争・暴動など破壊行為や事件・事故に起因する故障および損傷
- お取付時、実用化された技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

〈部品交換について〉

無料修理により取り外された部品・商品はTOTO(株)の所有となります。

※ 本書は上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、TOTO(株)お客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにお問い合わせください。

〈メンテナンス記録〉

修理完了時にお渡しする修理伝票は修理内容を記載していますので大切に保管してください。

TOTO株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

お客様相談室 TEL ☎ 0120-03-1010 FAX ☎ 0120-09-1010

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.42)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店

〒

電話

—

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）



修理のご用命は

安心・信頼の

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

ホームページ <https://www.tom-net.jp>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：8:00～18:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）

営業時間：9:00～17:00



交換部品・別売品の
ご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

※インターネットでの部品購入はTOTOパーツショップへ(24時間受付)
<https://tom-parts.jp.toto.com>



掲載内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。

詳細はTOTOホームページをご覧ください。



TOTO株式会社

TOTOホームページ <https://jp.toto.com>

メーカー管理用です。

2026.2
GH00049V